SHARP

プロジェクター

ViewLight®

形名 XP-P701U-W/XP-P621U-W

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● ご使用の前に「安全にお使いいただくために」（5 ページ）を必ずお読みください。

もくじ

はじめに …… 4
安全にお使いいただくために …… 5
本書の表記について …… 20

1. 製品概要、添付品、名称を確認する …… 21

1-1. 特長 …… 21
1-2. 添付品の確認 …… 23
1-3. 本体各部の名称 …… 24
1-4. リモコン各部の名称 …… 30

2. 映像を投写する（基本操作） …… 35

2-1. 映像を投写する流れ …… 35
2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する …… 36
2-3. 本機の電源を入れる …… 38
2-4. 入力信号を選択する …… 40
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する …… 41
2-6. 台形歪みを調整する（台形補正） …… 47
2-7. 本機の音量を調整する …… 49
2-8. 本機の電源を切る …… 50
2-9. あとかたづけ …… 51

3. 便利な機能 …… 52

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート） …… 52
3-2. 動画を静止画にする（静止） …… 52
3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大) …… 53
3-4. 輝度（明るさ）を調整する（ライトモード） …… 54

4. ビューワー（USB-A）を使用する …… 56

4-1. ビューワーでできること …… 56
4-2. USB メモリー内の画像を投写する（基本操作） …… 57

5. オンスクリーンメニュー …… 59

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作 …… 59
5-2. オンスクリーンメニュー一覧 …… 62
5-3. 映像 …… 65
5-4. 画像設定 …… 67
5-5. セットアップ（1） …… 70
5-6. セットアップ（2） …… 74
5-7. USB-A …… 88
5-8. 情報 …… 89

6. 機器と接続する …… 90

6-1. コンピューターや映像機器と接続する …… 90
6-2. 有線 LAN と接続する …… 91
6-3. HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する …… 92
6-4. ポートレート（縦向き）投写をする …… 94

7. ネットワークに接続する …… 96

7-1. ネットワークに接続してできること …… 96
7-2. 本機の有線 LAN を有効にする …… 96
7-3. 本機の HTTP サーバーに接続する …… 98
7-4. バックグラウンドロゴの登録 …… 104

8. 本体のお手入れ …… 105

8-1. レンズの清掃 …… 105
8-2. キャビネットの清掃 …… 106

9. 付　録 …… 107

9-1. 投写距離とスクリーンサイズ …… 107
9-2. 対応解像度一覧 …… 112
9-3. 仕　様 …… 113
9-4. 外観図 …… 115
9-5. 主な端子のピン配列と信号名 …… 117
9-6. 故障かな？と思ったら …… 119
9-7. インジケーター表示一覧 …… 122
9-8. ASCII コントロールコマンドについて …… 124
9-9. トラブルチェックシート …… 126
9-10. 別売品 …… 128

アフターサービスについて …… 129

使いかたのご相談など／修理のご相談など …… 裏表紙

はじめに

このたびは、プロジェクター（本機）をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
本機は、コンピューターやブルーレイプレーヤーなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。
本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用の前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。また、万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。
本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買いあげの販売店から必ずお受け取りのうえ、大切に保存してください。
本機は、日本国内向けモデルです。

● 本書で説明している機種名
XP-P701U-W/XP-P621U-W

[注意]

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
（4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
（5）アプリやコンテンツサービスは、提供事業者の都合により、予告なく変更・停止・終了する場合があります。これに起因するすべての不具合や損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

2026 年 6 月　4 版

シャープ株式会社の許可なく複製・改変などはできません。

安全にお使いいただくために

電波障害に関する注意事項

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI ー A

警告：本装置を住宅環境で使用すると無線障害を引き起こす可能性があります。

プロジェクターに接続する信号ケーブルは、シールドタイプを使用してください。
それ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

レーザー光線の安全に関する注意事項

警告

クラス 1 レーザー製品

- 本製品は、レーザー製品の安全基準 JIS C 6802:2018、および IEC 60825-1:2014 においてクラス 1 に分類されています。
- 本製品にはレーザーモジュールが内蔵されています。本書に記載した以外の手順による制御及び調整は、危険なレーザー放射の露光に結びつくことがあります。
  またレンズ近くでのレーザー光への露光は、やけどを引き起こす可能性があります。

【内蔵されたレーザーの概要】

・ 波長：449 ー 461nm
・ 最大出力：180W（XP-P701U-W）
　　129W（XP-P621U-W）

リスクグループについて

本製品は、IEC 62471-5:2015 規格のリスクグループ 2 に分類されています。

警告

明るい光源と同じように、ビームをのぞき込まないこと。 RG2 IEC 62471-5:2015.

絵表示について

この説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。**
注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の財産に損害をあたえたりすることがあります。**

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

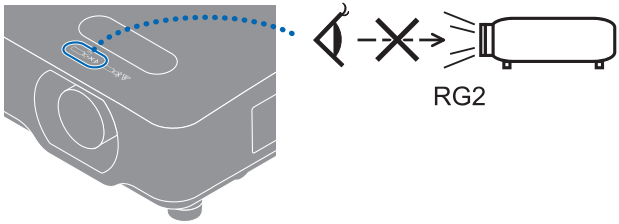
警告

プロジェクターの投写光について

禁止

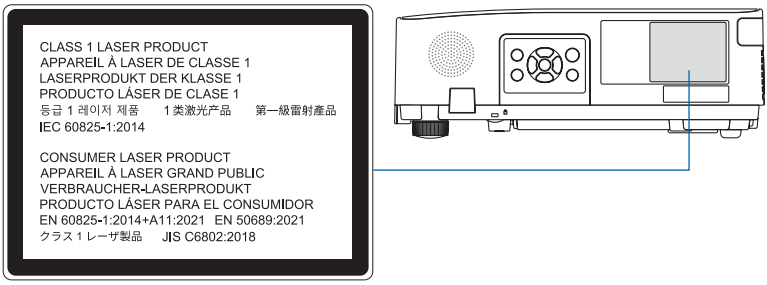
投写光と本体の表示

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。
  動作中は強い光が投写されていますので、視力障害の原因となります。またレンズ近くでのレーザー光への露光は、やけどを引き起こす可能性があります。特にお子様には注意してください。
- 投写光を、光学機器（ルーペや反射鏡など）を使ってのぞかないでください。視力障害の原因になります。
- プロジェクターの電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。
- お子様に一人でプロジェクターを操作させないでください。お子様が操作する場合は、必ず大人が付き添い、お子様から目を離さないでください。
- レンズの上のプロジェクター上面に、次ののぞきこみ禁止を表す図記号を表示しています。



- プロジェクター本体に次のラベルを貼付しています。

【レーザー説明ラベル】



警告

電源について

国内専用

プロジェクターは日本国内専用です

- このプロジェクターと添付の電源コードは国内使用専用です。
- 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
  またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではお受けできません。
  This product is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

必ず行う

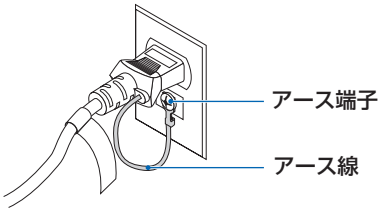
正しい電源電圧で使用する

- このプロジェクターは、交流 100 ボルト , 50/60Hz の電源で使用するように設計されています。プロジェクターを使用する前に、プロジェクターを接続する電源が要求を満たすものかを確認してください。
- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。危険ですので直接電灯線に接続しないでください。

アース線を接続せよ

アースリード線をアース端子に確実に接続する

- このプロジェクターは電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。
  機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。
  アースを接続しないと感電するおそれがあります。
- プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。
  プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。
- アース工事は専門業者にご依頼ください。
- 必ず電源プラグをコンセントに差し込む前にアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後にアース線を外してください。



警告

禁止

電源コードの取り扱い

- このプロジェクターに添付している電源コードは、このプロジェクター専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

感電注意

- 電源コードは大切に取り扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
  - ・添付されているもの以外の電源コードは使用しない
  - ・コードの上に重い物をのせない
  - ・コードをプロジェクターの下敷きにしない
  - ・コードの上を敷物などで覆わない
  - ・コードを傷つけない、加工しない
  - ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - ・コードを加熱しない

  電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に交換をご依頼ください。
- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

ぬれた手でさわらない

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

設置について

禁止

次のような所では使用しない

- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
  - ・風通しや換気の悪い所
  - ・直射日光のあたる所や熱器具のそば
  - ・振動の多い所
  - ・湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所
  - ・腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する所
  - ・屋外
  - ・温度、湿度が急激に変化し結露ができやすい所

    結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

次ページに続く

警告



水ぬれ禁止



プラグを抜く

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
  - ・雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
  - ・風呂やシャワー室で使用しない
  - ・エアコン等水を排出する機器の近くで使用しない
  - ・プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
  - ・プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない

  万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に連絡してください。



注意

天吊り設置

- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。
  設置業者様は、15 ページの「設置や保管についての注意事項」をご覧ください。
- 設置や取り扱いが適切でない、誤使用、改造、天災などに起因する事故、損害については、当社は一切責任を負いません。
- 天吊りなどの設置をしたときはプロジェクターにぶらさがらないでください。落下してけがの原因となります。
- 天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントを使用してください。

使用について



禁止



プラグを抜く

内部に物を入れない

- プロジェクターの通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭では注意してください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まずプロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に連絡してください。

警告


プラグを抜く

故障したときは電源プラグを抜く

- プロジェクターから煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合や、プロジェクターを落としたりキャビネットを破損した場合は、プロジェクターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となるだけではなく、視力障害ややけどの原因になります。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ修理を依頼してください。
  お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。


分解禁止

プロジェクターの分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。
  また改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電およびレーザー光がもれることによる視力障害ややけどの原因となります。
  内部の点検・調整・修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へ依頼してください。


禁止


高温注意

プロジェクターの動作中にレンズの前に物を置かない

- 動作中にレンズにレンズキャップをしないでください。レンズキャップが高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- 上記を警告するために、プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。




禁止

プロジェクターの清掃時

- レンズやキャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。


禁止

極めて高い信頼性を必要とする業務に使用しない

- 生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。

⚠注意

電源コードについて

必ず行う

電源コードの取り扱い

- 電源プラグを抜き差ししやすい場所のコンセントを使用してください。
- プロジェクターの AC IN 端子に電源コードを接続する際は、コネクターを奥までしっかり差し込んでください。電源コードの接続がゆるむと、火災・感電の原因となるおそれがあります。

必ず行う

プラグを抜く

火災や感電を防ぐために、次のことを守る

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

必ず行う

電源プラグのほこりなどは定期的に取る

- 火災・感電の原因となることがあります。

必ず行う

電源コードやケーブル類を抜いてから移動する

- コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

禁止

電源コードは、タコ足配線しない

- タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。

使用について

禁止

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない

- プロジェクターの HDBaseT ポートおよび LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。
  HDBaseT ポートおよび LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

⚠注意

必ず行う

レンズシフト、フォーカス、ズームの操作

- レンズシフト、フォーカス、ズームはプロジェクターの後ろまたは横から調整してください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。
- レンズシフト動作中は、レンズの周囲に手を近づけないでください。キャビネットとレンズの隙間に指を挟むおそれがあります。

必ず行う

乾電池は適切に取り扱う

乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破裂によるけがの原因となることがあります。

- 指定以外の電池を使用しない。
- 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。
  乾電池は種類によって特性が異なります。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。
  液がもれて故障の原因となるおそれがあります。
  漏れた液に触れたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
  漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
  皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。
- 長時間使わないときは、乾電池を取り出す。
- 高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。
  破裂したり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。
- 乾電池を水の中に投入したり、器具で押しつぶしたり、焼却、加熱、切断、改造しない。
  破裂のおそれがあります。
- 乾電池をショートや充電をしない。
- 乾電池を廃棄する際は、プラス（＋）とマイナス（－）をセロハンテープで絶縁して廃棄する。
  廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。

⚠注意



禁止



高温注意

通風口について

- プロジェクターの通風口をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。
  プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間をあけてください。(→ 17 ページ)
- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。



禁止

プロジェクターの持ち運び

- プロジェクターを持ち運ぶときに、レンズ部分に手をかけないでください。フォーカスリングが回転し、プロジェクターが落下してけがの原因となることがあります。
  また、キャビネットとレンズの隙間に手をかけると、プロジェクターが破損して落下し、けがの原因となることがあります。
- プロジェクターを持ち運ぶとき、接続端子部のくぼみに手をかけないでください。プロジェクターが破損して落下し、けがの原因となることがあります。



禁止

本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下がらない、硬いものでこすったり、たたいたりしない

- 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。



必ず行う

温度や湿度が急激に変化する環境での使用、保存を避ける

- 以下の使用環境･保存環境で本機をご使用､保存ください｡守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。

  動作温度：0 ～ 45℃ / 湿度：20 ～ 80% (結露のないこと)
  保存温度：-10 ～ 50℃ / 湿度：20 ～ 80% (結露のないこと)

点検と清掃について



必ず行う

プロジェクターの点検・本体内部の清掃

- 1 年に一度は内部の清掃をお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に清掃すると、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましてはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

設置や保管についての注意事項

●次のような場所に設置したり、保管したりしないでください。

・振動や衝撃が加わる場所
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、プロジェクターに振動や衝撃が加わって内部の部品が傷み、故障の原因となります。
・高圧電線や動力源の近く
妨害を受ける場合があります。
・強い磁界が発生する場所
故障の原因となります。
・屋外および湿気やほこりの多い場所
油煙や湯気の当たるような場所
腐食性のガスが発生する場所
キャビネットに油や薬品、水分などが付着した場合、キャビネットの変形またはひび割れ、金属部分の腐食、および故障の原因となります。

● 天吊り設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）

① 落下防止のためプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重に長期間耐えるようにしてください。
② 設置は、天井取付けユニットの取扱説明書に従って、正しく確実に作業してください。所定のネジや固定金具はすべて確実に取り付けてください。
③ 落下防止のために落下防止ワイヤーを使用してください。
・市販の金具などを用いて建物や構造物の丈夫な箇所とプロジェクターのセキュリティバーを落下防止ワイヤーで接続してください。
・市販の金具や落下防止ワイヤーはプロジェクターおよび天井取付けユニットの荷重に耐えられるように十分強度のある物をご使用ください。
・落下防止ワイヤーはプロジェクターに負荷をかけないように、少したるませるように設置してください。
・セキュリティバーの位置については、24、25 ページをご覧ください。

廃棄について

本機を廃棄する際は、お買いあげの販売店、または自治体にお問い合わせください。

個人情報の初期化について

本機には、IP アドレス等、個人情報が記録されている可能性があります。廃棄・譲渡する際には、オンスクリーンメニューの「工場初期化」を実行して、設定の初期化をしてください。

プロジェクターの性能確保のための注意事項

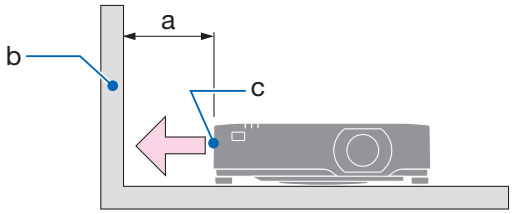
- レーザー光線のような強い光がレンズから入り込むと、故障の原因となります。
- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
  たばこの煙･ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して使用する場合は、あらかじめ本書の裏表紙に掲載しているシャープサポートページをご確認ください。
- コンピューターなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。コンピューター側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- 標高約 1600m 以上の場所でプロジェクターを使用する場合は､必ずファンモードを「高地」に設定してください｡「高地」に設定していないと､プロジェクター内部が高温になり､故障の原因となります。
- プロジェクターを高所（気圧の低い所）で使用すると、光学部品の交換時期が早まる場合があります。
- プロジェクターの持ち運びについて
  ・レンズに傷が付かないように必ず添付のレンズキャップを取り付けてください。
  ・プロジェクターに振動や強い衝撃を与えないでください。
  プロジェクターの故障の原因となります。
- チルトフットはプロジェクターの傾き調整以外の用途には使用しないでください。
  チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
  投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、投写レンズ面には手を触れないでください。
- 投写中に電源コードを抜かないでください。プロジェクターの AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は､ブレーカーなどを利用してください。
- リモコンの使用上の注意
  ・リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
  ・リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
  ・乾電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい乾電池に交換してください。
  ・蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
  ・誤動作防止のために、エアコンやステレオコンポなど他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
  ・他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別 ID（リモコン ID またはコントロール ID）を設定するなどして誤動作を防止してください。
  ・プロジェクターから約 7m 以内でプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作してください。
  ・リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。

・リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
・できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。

- スクリーンへの外光対策をしてください。
  スクリーンには、照明などプロジェクター以外からの光が入らないようにしてください。外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
  ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

設置する際の周囲との距離についての注意

プロジェクターを設置する際は、下記のように周囲に十分な空間を作ってください。プロジェクターから出た高温の排気が再びプロジェクターに吸気される場合があります。
また、エアコンから吹き出された風がプロジェクターに当たらないようにしてください。プロジェクターの温度制御で異常（温度エラー）を感知して自動的に電源が切れることがあります。



a：20cm 以上 / b：壁面 / c：排気口

［注意］

- 上の図において、プロジェクターの上方には十分な空間があるものとします。また、後方にも吸気口があります。後方は、目安として 10cm 以上、ケーブル類を取り付け作業するにはさらに広い空間をあけてください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、プロジェクターを使って映像を投写する場合、プロジェクターの機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
  アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

本機のパワーマネージメント機能についてのお知らせ

本機は、消費電力を抑えるため、工場出荷時に以下のパワーマネージメント機能（1）、（2）を設定しています。本機を LAN やシリアルケーブルなどを経由して外部機器から制御する場合は、オンスクリーンメニューを表示して（1）、（2）の設定を変更してください。

（1）スタンバイモード（工場出荷時の設定：ノーマル）
　外部機器から制御する場合は「ネットワークスタンバイ」または「スリープ」に変更してください。（→ 71 ページ）
（2）パワーマネージメント（工場出荷時の設定：待機）
　外部機器から制御する場合は「オフ」に変更してください。（→ 83 ページ）

[注意]

- 「パワーマネージメント」のモードを「待機」または「シャットダウン」に設定していると、同設定の「タイマー」および「待機秒読み」で設定している時間内に入力信号がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源が切れます。

有線 LAN に関するご注意

- 本機の HDBaseT ポートおよび LAN ポートは公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。そのため HDBaseT ポートおよび LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

商標について

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- HDBaseT™および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。
- PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- CRESTRON, CRESTRON ROOMVIEW は Crestron Electronics, Inc. の米国その他の国における登録商標または商標です。
- AMX は米国 AMX LLC の登録商標または商標です。
- その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。
- Virtual Remote Tool は Nicomsoft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。

本製品に含まれる GPL/LGPL 等適用ソフトウェアのライセンスについて

本製品には GNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、ホームページをご参照ください。

https://smj.jp.sharp/r/38/

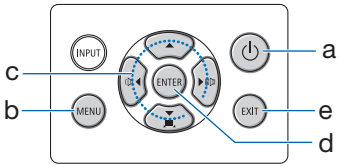
本書の表記について

マークの意味

[重要]	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
[注意]	注意や制限事項を表しています。
[参考]	補足説明や役立つ情報を表しています。
→ 00 ページ	本書内の参照ページを表しています。

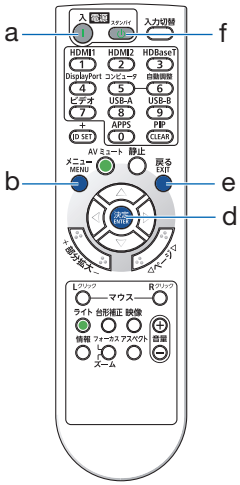
操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン



a：⏻（電源）
b：MENU（メニュー）
c：上下左右の場合：▼▲◀ ▶
　左右の場合：◀ / ▶
　下の場合：▼
d：ENTER（決定）
e：EXIT（戻る）

●リモコンの操作ボタン



a：電源入（I）
b：メニュー
d：決定
e：戻る
f：電源スタンバイ(⏻)

[参考]

● 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

1. 製品概要、添付品、名称を確認する

1-1. 特長

■ 全般

● 液晶方式の高輝度・高解像度プロジェクター

機種名	明るさ	解像度	アスペクト比
XP-P701U-W	7000lm/7400lm（センター）	WUXGA （1920 × 1200 ドット）	16:10
XP-P621U-W	6200lm/6500lm（センター）		

アスペクト比 21:9 の入力信号にも対応しています。

● 高い防塵性能を可能とした独自の密閉構造

防塵性能に優れているため、フィルターを搭載していません。フィルターの交換が不要です。

● 密閉構造を生かした静音設計

静かな会議室や教室でもファンノイズが気にならない静音設計です。

● 高精細な映像を長期間、安定して供給

密閉構造により光学部品への粉塵の付着を抑制し、高精細な映像を長期間、安定して投写します。

■ 光源・輝度

● 長寿命レーザー光源を採用

レーザー光源は長寿命のため、光源の交換や調整などのメンテナンスが長期間不要になり、ローコストオペレーションを実現します。

● 幅広い輝度調整が可能

ランプとは異なり、出力を 50%から 100%まで 1%刻みで調整することができます。

● 輝度一定モード

通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、使用時間に応じレーザー光源の出力を自動調整し、輝度を維持できます。

■ 設置

● 360˚の設置、ポートレート投写が可能

本機は、垂直方向と水平方向 360˚の、どの角度でも設置が可能です。
本機を傾けて設置する場合は、十分な強度のある金具を使用してください。
また、投写画面を 90˚傾けたポートレート投写することができます。必ず専用のスタンドを制作して設置してください。

● 投写画面の位置調整を容易にするレンズシフト機構を装備

投写画面の位置の移動は、本体の上面にある「垂直方向用」および「水平方向用」の 2 つのダイヤルを回します。

■ 映像

● HDMI 2 系統、HDBaseT などの豊富な入力端子

HDMI 入力端子を 2 系統、および HDBaseT 端子などを装備しています。
本機の HDMI 入力端子は HDCP に対応しています。
HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。

● USB メモリーに保存した画像を投写できるビューワー機能

画像を保存した市販の USB メモリーを本機の USB ポート（タイプ A）に差すと、USB メモリー内の画像を本機で投写することができます。これにより、コンピューターを使わずにプレゼンテーションができます。

■ ネットワーク

● 有線 LAN 対応

LAN ポート（RJ-45）を装備しており有線 LAN に接続してコンピューターから本機へ画像を伝送したり、コンピューターから本機を制御したりできます。

● CRESTRON ROOMVIEW に対応

本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピューターやコントローラーから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

● 便利なアプリケーションソフトに対応

アプリケーションソフト（NaViSet Administrator 2、NaViSet Administrator Server Edition、Virtual Remote Tool、ProAssist）に対応しています。有線 LAN で接続したコンピューターからプロジェクターを制御することができます。

- NaViSet Administrator 2、NaViSet Administrator Server Edition
  プロジェクターの状態をモニタリングしたり、様々な機能を制御することができます。
- Virtual Remote Tool
  コンピューターの画面上に仮想のリモコンを表示して、プロジェクターの電源の入／切や信号切り替えなどの簡単な制御をします。

● ProAssist

円柱面や球面等の特殊形状スクリーンに投写するときの歪みを補正できます。

■ 省エネ

● スタンバイ時の消費電力が 0.31 ワットの省エネ設計

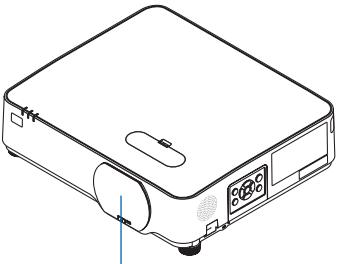
オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「ノーマル」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.31 ワットになります。
ノーマル：スタンバイ時の消費電力が 0.31 ワットのモード
ネットワークスタンバイ：スタンバイ時の消費電力が 0.8 ワットのモード

● ライトモードとカーボンメーター表示

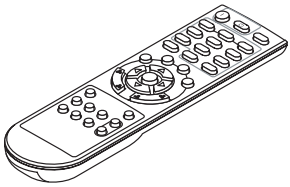
使用目的などに合わせて、3 つのライトモードを選択できます。
また、ライト調整で出力を下げて使用すると、消費電力を抑えることができます。このときの省エネ効果が CO_2 排出削減量に換算され、電源を切るときの「確認メッセージ」に表示されます（カーボンメーター）。

1-2. 添付品の確認

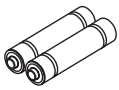
添付品の内容をご確認ください。



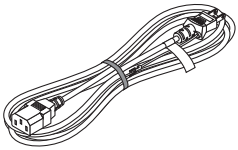
レンズキャップ
プロジェクター（本機）



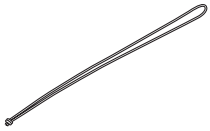
リモコン



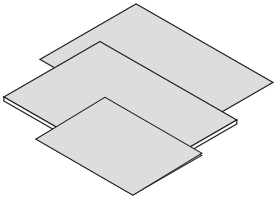
単 4 形アルカリ乾電池
（リモコン用）2 本



電源コード（アース付き）
（3.0m）



レンズキャップ用
ストラップ 1 本



クイックスタートガイド

重要なお知らせ

保証書

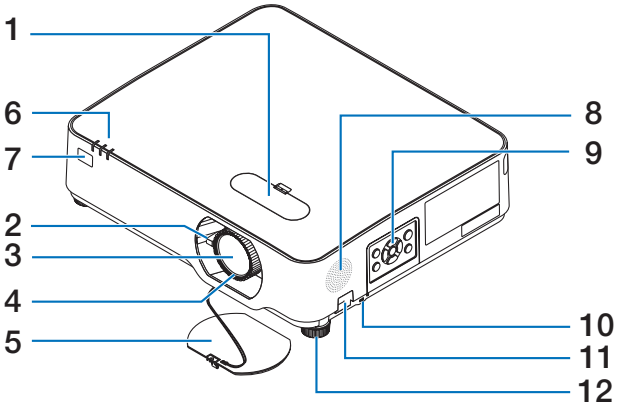
セキュリティラベル
本機にパスワードを設定したときに、必要に応じて本体に貼ってください。

[参考]

- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

1-3. 本体各部の名称

本体前面



1 レンズシフトカバー
カバーを開けると、水平ダイヤルと垂直ダイヤルがあります。このダイヤルを回して投写画面の位置を調整します。（→ 42 ページ）

2 ズームレバー
投写した画面の大きさを調整します。（→ 45 ページ）

3 レンズ
ここから映像が投写されます。

4 フォーカスリング
映像のフォーカスを合わせます。（→ 44 ページ）

5 レンズキャップ
レンズを保護します。投写中は必ず外してください。

6 インジケーター
本機の動作状態を知らせます。（→ 28, 122 ページ）

7 リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。本体の前面と背面の2箇所にあります。（→ 34 ページ）

8 スピーカー（モノラル）
HDMI1、HDMI2、HDBaseT 入力端子から入力された音声を出します。（→ 49 ページ）

9 本体操作部
本機の電源の入／切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。（→ 27 ページ）

10 セキュリティスロット
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは次ページの［参考］をご覧ください。

11 セキュリティバー

セキュリティケーブル（またはワイヤー）を取り付けます。
本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。

12 チルトフット（左右）

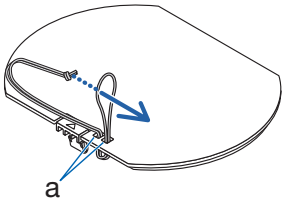
チルトフットを回して左右の傾きを調整します。（→ 45 ページ）

［参考］

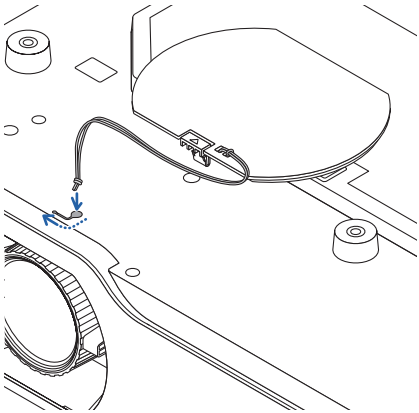
- セキュリティスロットについて
  セキュリティスロットは、市販のケンジントン社製セキュリティケーブルに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

●レンズキャップ用ストラップの取り付けかた

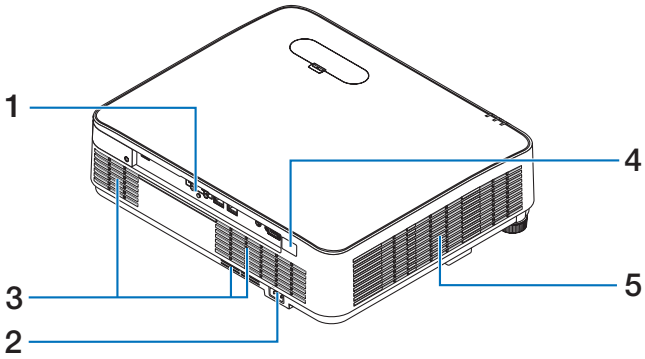
(1) レンズキャップ取り付け穴ⓐにストラップの先端を差し込み、結び目を通します。



(2) 本体底面のストラップ取り付け穴（大）に結び目を差し込み、狭い方（小）の穴へ押し込む。



本体背面



1　接続端子部
各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。（→ 29 ページ）

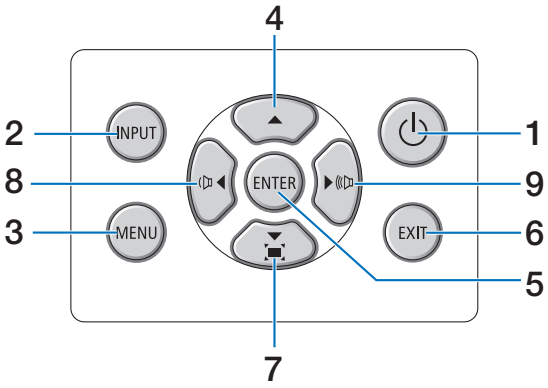
2　AC IN 端子
添付の電源コードを接続します。（→ 37 ページ）

3　吸気口
外気を取り込み本体内部を冷却します。

4　リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。（→ 34 ページ）

5　排気口
内部の熱を排気します。

本体操作部



1 （電源）ボタン
本機の電源を入／切（スタンバイ状態）します。
電源を切る（スタンバイ状態にする）ときは、一度押すと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度 ⏻ボタンを押します。

2 INPUT（入力切替）ボタン
オンスクリーンメニューを表示していないときに押すと、入力端子画面を表示します。

3 MENU（メニュー）ボタン
各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。（→ 59 ページ）
オンスクリーンメニューを表示しているときは、メニューを消します。

4 ▼▲◀▶ ボタン
オンスクリーンメニューを表示しているときに▼▲◀▶ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。

5 ENTER（決定）ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進み、選択項目を決定します。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

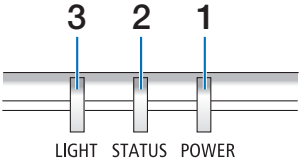
6 EXIT（戻る）ボタン
オンスクリーンメニュー表示中に、前の階層のメニューに戻ります。

7 （台形補正）ボタン
オンスクリーンメニューを表示していないときに押すと、台形歪みを調整できます。（→ 47 ページ）

8 （音量－）ボタン
オンスクリーンメニューを表示していないときに押すと、音量を調整できます。（→ 49 ページ）

9 （音量 +）ボタン
オンスクリーンメニューを表示していないときに押すと、音量を調整できます。（→ 49 ページ）

インジケーター



1 POWER（電源）インジケーター

本機の電源の状態を表すインジケーターです。
電源が入っているときは青色に点灯します。
スタンバイ時は、オレンジ色で点灯・点滅、または緑色で点灯します。（オンスクリーンメニューの「スタンバイモード」の設定状態によって変わります。）

2 STATUS（ステータス）インジケーター

本機の異常をお知らせします。

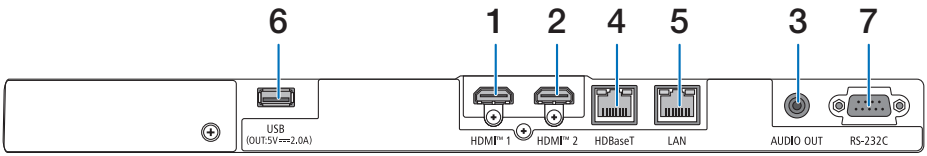
3 LIGHT（光源）インジケーター

オンスクリーンメニューの「ライトモード」の設定状態や、光源の異常をお知らせします。

[参考]

- 詳しくは「インジケーター表示一覧」をご覧ください。（→ 122 ページ）

接続端子部



1 HDMI 1 入力端子（タイプ A）
コンピューター、ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。本機のスピーカーから出力される音声はモノラルのみです。

2 HDMI 2 入力端子（タイプ A）
コンピューター、ブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。
本機のスピーカーから出力される音声はモノラルのみです。

3 音声出力端子（ステレオ・ミニ）
本機から投写されている映像の音声信号を出力します。
音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカーから音声が出なくなります。

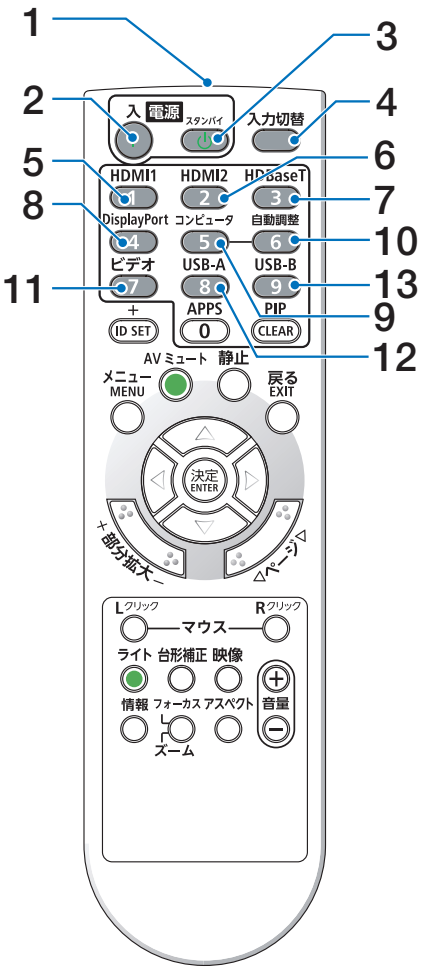
4 HDBaseT ポート（RJ-45）
本機を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。（→ 92 ページ）

5 LAN ポート（RJ-45）
本機を有線 LAN に接続します。接続すると本機の HTTP サーバー機能を利用し、コンピューターでウェブブラウザーを使用して本機を制御することができます。
（→ 91 ページ）

6 USB ポート（タイプ A）
USB メモリーを接続します。
USB メモリーに画像データを保存すると本機のビューワーで投写することができます。（→ 57 ページ）
また、本機の電源が「入」状態のとき、5V/2.0A の電源を供給します。

7 RS-232C 端子（D-Sub 9 ピン）
コンピューターで本機を操作するときに使用します。

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部
赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 電源入（ I ）ボタン
スタンバイ時（POWER インジケーターがオレンジ色※で点滅）に本機の電源を入れます。
（※スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）

3 電源スタンバイ（⏻）ボタン
一度押して電源オフ確認メッセージを表示してもう一度スタンバイ ボタンを押すと、本機の電源が切れます（スタンバイ状態）。

4 入力切替ボタン
入力端子画面を表示します。

5 HDMI 1 ボタン
HDMI 1 入力を選択します。

6 HDMI 2 ボタン
HDMI 2 入力を選択します。

7 HDBaseT ボタン
HDBaseT 入力を選択します。

8 DisplayPort ボタン
（本機では使用できません）

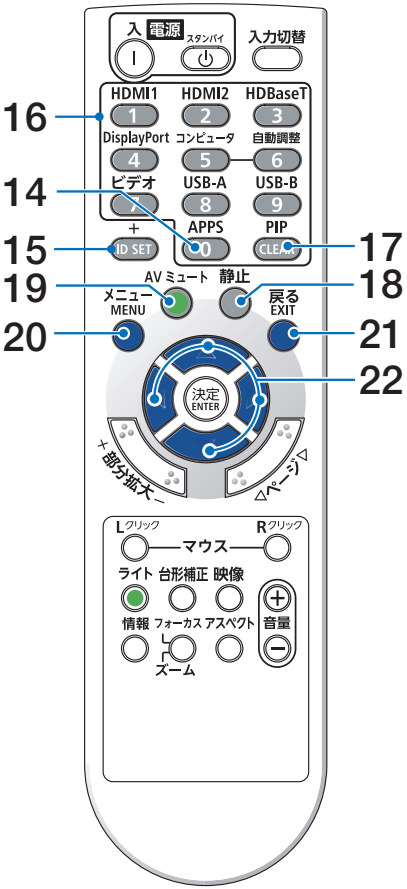
9 コンピュータボタン
（本機では使用できません）

10 自動調整ボタン
（本機では使用できません）

11 ビデオボタン
（本機では使用できません）

12 USB-A ボタン
ビューワーを選択します。（→ 57 ページ）

13 USB-B ボタン
（本機では使用できません）



14 APPS ボタン

（本機では使用できません）

15 ID SET ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロール ID 設定に使用します。（→ 86 ページ）

16 数字（0 ～ 9）入力ボタン

コントロール ID 設定のときの ID 入力に使用します。

CLEAR ボタンはコントロール ID 設定を解除する場合に使用します。

また、ネットワーク設定の数値入力に使用します。

17 PIP ボタン

（本機では使用できません）

18 静止ボタン

表示されている画像が静止画になります。もう一度押すと戻ります。

19 AV ミュートボタン

映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。

20 メニューボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

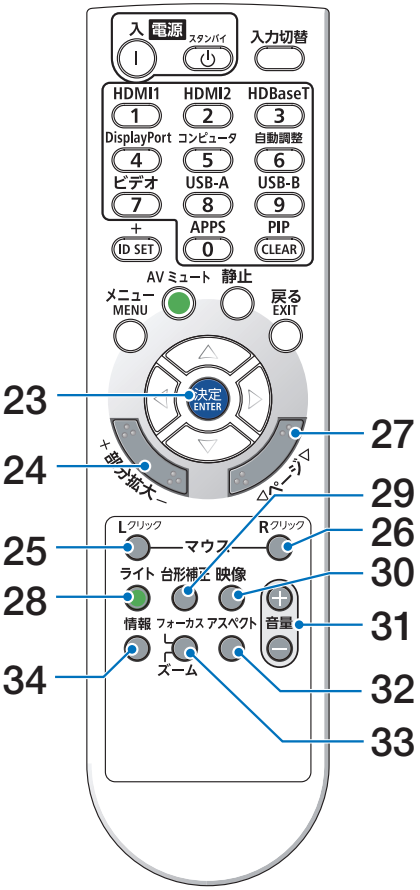
21 戻るボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。

確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

22 ▼▲◀▶ボタン

オンスクリーンメニュー操作、部分拡大＋ / －ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整、およびビューワーのスライド画面の切り替えに使用します。



23 決定ボタン
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。
確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

24 部分拡大 ＋ / －ボタン
画面の拡大・縮小（元に戻す）をします。
画面を拡大しているとき、▼▲◀▶ボタンで表示位置を移動することができます。

25 マウス L クリックボタン
（本機では使用できません）

26 マウス R クリックボタン
（本機では使用できません）

27 ページ ▽ / △ボタン
（本機では使用できません）

28 ライトボタン
ライトモードを切り替えます。（→ 54、55 ページ）

29 台形補正ボタン
幾何学補正メニューを表示します。（→ 47 ページ）

30 映像ボタン
ピクチャーマネージメントを切り替えます。（→ 65 ページ）

31 音量 ＋ / －ボタン
内蔵スピーカーの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

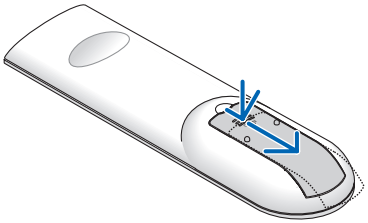
32 アスペクトボタン
アスペクトを切り替えます。（→ 67 ページ）

33 フォーカス / ズームボタン
（本機では使用できません）

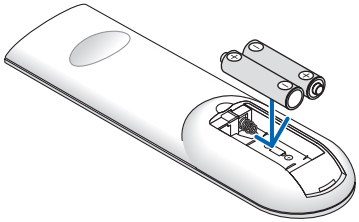
34 情報ボタン
情報画面を表示します。（→ 89 ページ）

●電池の入れかた

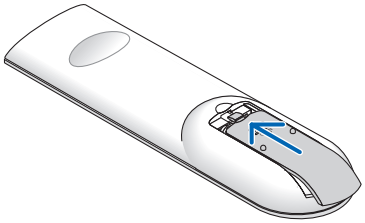
1. **リモコン裏面の電池ケースのふたを押したまま手前に引き、上に持ち上げて外す。**



2. **ケース内部に表示している＋、－の向きに合わせて単 4 形アルカリ乾電池をセットする。**



3. **もとどおりにふたをする。**
   ふたの後部には電池ケースに固定するツメがありますので、スライドさせて閉めてください。



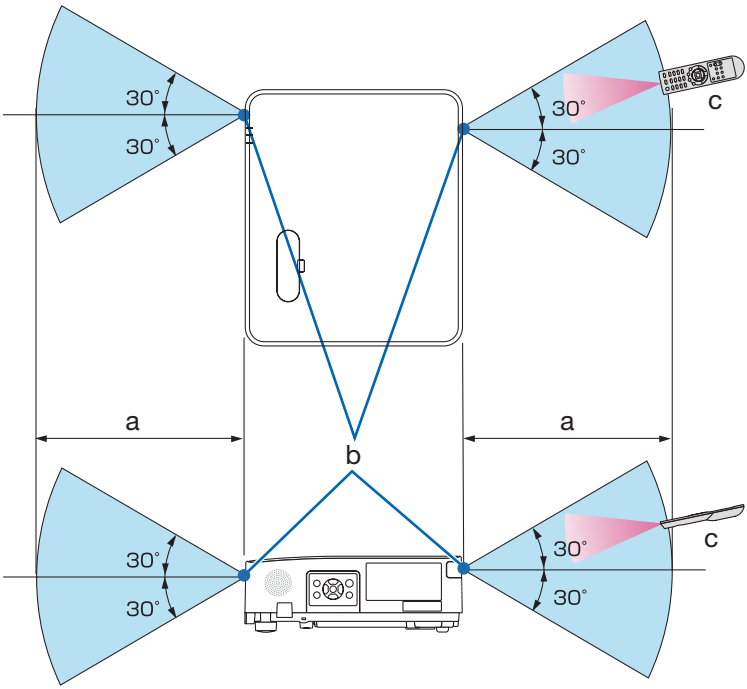
［注意］

- 乾電池を交換するときは、2 本とも同じ種類の単 4 形アルカリ乾電池をお買い求めください。

●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

【受光範囲】



a: 約 7m ／ b: プロジェクターのリモコン受光部／ c: リモコン

（注）有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

[注意]

- リモコンの使用上の注意は、16 ページをご覧ください。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1	コンピューターと接続する／電源コードを接続する （→次ページ）
ステップ 2	本機の電源を入れる（→ 38 ページ）
ステップ 3	入力信号を選択する（→ 40 ページ）
ステップ 4	投写画面の位置と大きさを調整する（→ 41 ページ） 台形歪みを調整する（→ 47 ページ）
ステップ 5	本機の音量を調整する（→ 49 ページ）
ステップ 6	プレゼンテーションする
ステップ 7	本機の電源を切る（→ 50 ページ）
ステップ 8	あとかたづけ（→ 51 ページ）

2-2. コンピューターと接続する／電源コードを接続する

1. コンピューターと接続する

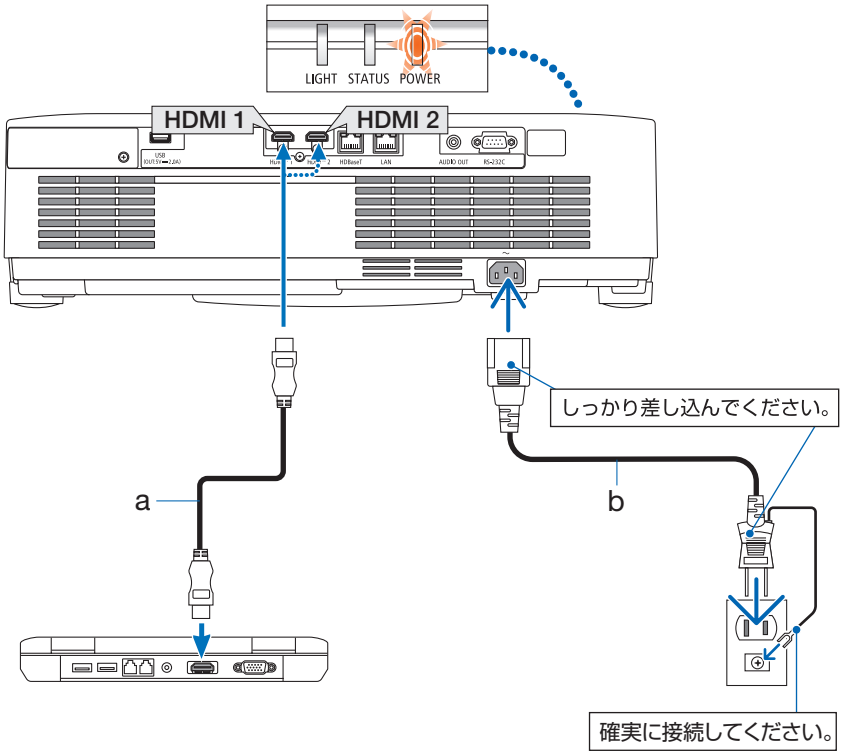
ここでは、コンピューターとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」90 ページをご覧ください。
コンピューターの HDMI 出力端子と本機の HDMI1 入力端子（HDMI1) または HDMI2 入力端子（HDMI2）を HDMI ケーブルで接続します。

2. 電源コードを接続する

添付の電源コードを使って、コンセントに本機を接続します。
① 電源コードのコネクターを本機の AC IN 端子に差し込む。
② 電源コードのアース線を AC100V のコンセント（アース工事済み）のアース端子に接続する。
③ 電源コードのプラグを AC100V のコンセントに差し込む。

⚠注意	● 本機は電源コードのアース線をアースに接続することを前提に設計されているアースつき 2 芯プラグ機器です。 機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してご使用ください。 アースを接続しないと感電するおそれがあります。 ● プロジェクターとコンピューター（信号源）は必ず同じアースに接続してください。 プロジェクターとコンピューター（信号源）を離れた場所のアースに接続すると、アース電位の変動により、発火・発煙の原因となることがあります。 ● アース工事は専門業者にご依頼ください。 ● 必ず電源プラグをコンセントに差し込む前にアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後にアース線を外してください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケーターがオレンジ色で点滅し、本機がスタンバイ状態になります。（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）
（→ 71 ページ）



a：HDMI ケーブル（市販）/ b：電源コード（添付）

● プレミアムハイスピード対応の HDMI ケーブルを使用してください。

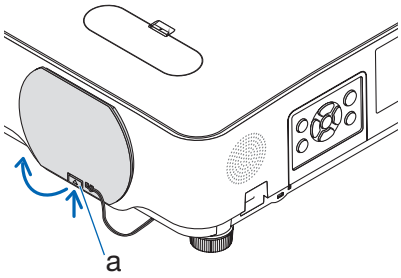
⚠注意	電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる

⚠警告	プロジェクターは強い光を投写します。電源を入れる際は、投写範囲内にレンズを見ている人がいないことを確認してください。

1. レンズキャップを取り外す。

レンズキャップのストッパーⓐを押し上げたまま手前に引いて外します。

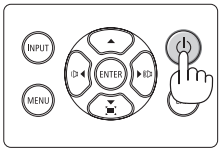


2. ⏻（電源）ボタンを押す。

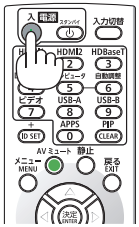
POWER（電源）インジケータが青色に点灯し、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源入（I）ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます。（本機の初期設定）
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。（→ 44 ページ）

本体



リモコン



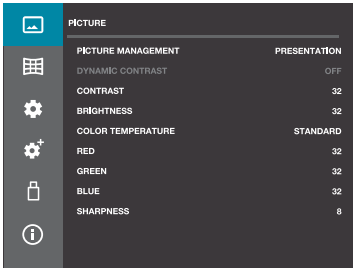
[注意]

- 次のような場合は、⏻ ボタンを押しても電源が入りません。
  - 内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待って（内部の温度が下がって）から電源を入れてください。
  - ⏻ ボタンを押している間にステータスインジケーターがオレンジ色に点灯する場合は本体キーロックが設定されています。本体キーロックを解除してください。（→ 72 ページ）

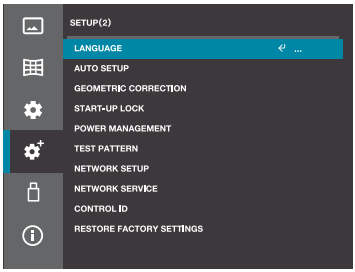
[参考]

- 本機のメニューやメッセージの表示言語は「英語」が初期値になっています。以下のように操作して「日本語」に変更してください。

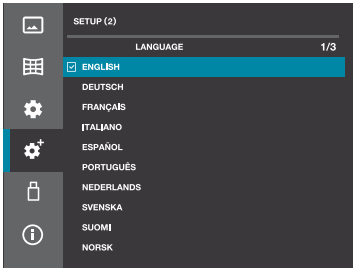
① リモコンまたは本体操作部のMENU(メニュー)ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。



② ▲/▼ ボタンを押して「SETUP(2)」アイコンにカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンまたは▶ボタンを押す。
「SETUP(2)」メニューが表示されます。



③「LANGUAGE」にカーソルが合っていることを確認し、ENTER（決定）ボタンまたは▶ボタンを押す。
表示言語一覧が表示されます。



④ ▲/▼ ボタンを押して「日本語」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。
メニュー表示が日本語に変わります。

⑤ MENU（メニュー）ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが消えます。

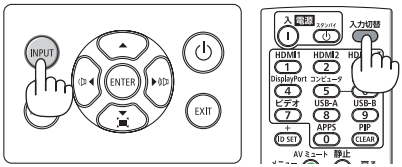


2-4. 入力信号を選択する

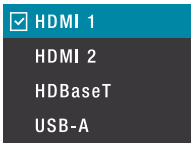
1. **本機に接続しているコンピューターや DVD プレーヤーなどの電源を入れる。**
   DVD プレーヤーなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2. **INPUT（入力切替）ボタンを押す。**
   入力端子画面が表示されます。

本体　　リモコン



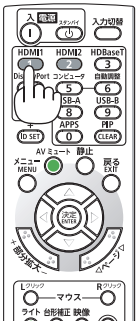
3. **▼ / ▲ボタンを押して投写する端子にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。**



リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

1. **本機に接続しているコンピューターや DVD プレーヤーなどの電源を入れる。**
   DVD プレーヤーなどの映像を投写するときは、再生（PLAY）操作をしてください。

2. **リモコンの HDMI 1 または HDMI 2 ボタンを押す。**



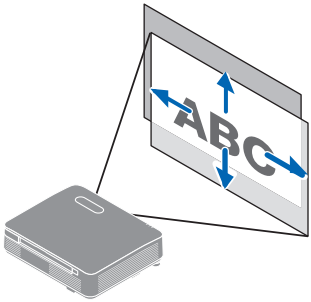
[参考]

- 信号が入力されていないときは、ブルーバックが表示されます。（本機の初期設定）
  DVD プレーヤーなどは再生（PLAY）操作をしてください。

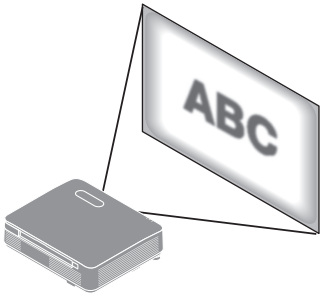
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズーム、フォーカスなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

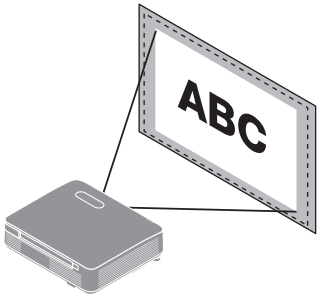
投写画面の上下・左右位置の調整
【レンズシフト】（→次ページ）



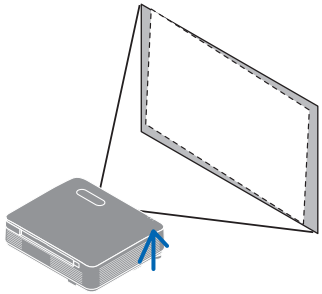
投写画面のフォーカス調整
【フォーカスリング】（→ 44 ページ）



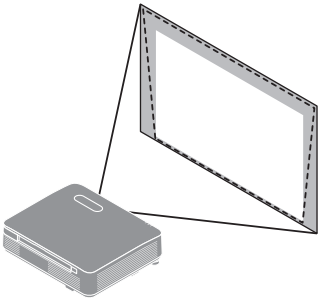
投写画面の大きさの調整【ズームレバー】
（→ 45 ページ）



投写画面の高低と左右の傾き調整
【チルトフット】（→ 45 ページ）



投写画面の台形歪み補正【台形補正】
（→ 47 ページ）



※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

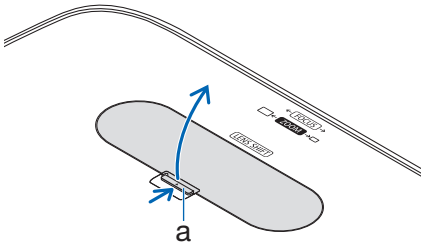
投写画面の位置の調整（レンズシフト）

⚠注意	プロジェクターの後ろまたは横から調整してください。前面で調整すると強い光が目に入り、視力障害の原因となります。

1. レンズシフトカバーを開ける。

カバーのストッパーⓐを前方へ押したまま開けます。

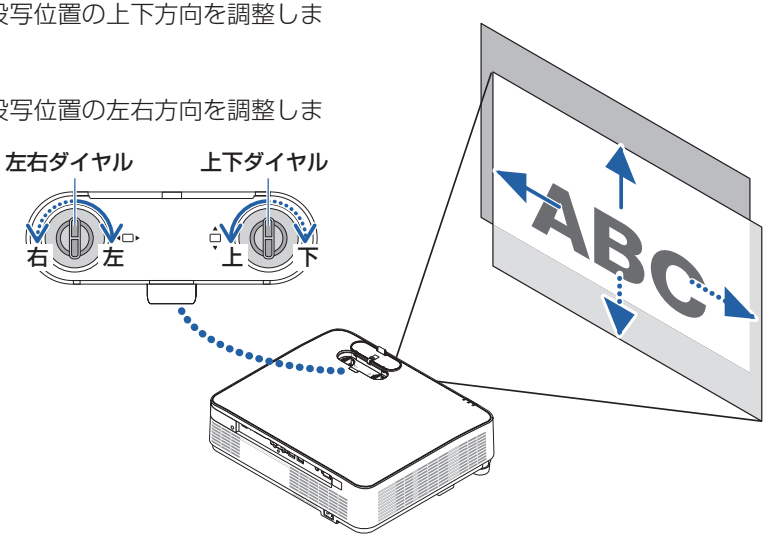
・ レンズシフトカバーは外れません。



2. レンズシフトダイヤルを左右に回す。

上下ダイヤル：
左右へ回して投写位置の上下方向を調整します。

左右ダイヤル：
左右へ回して投写位置の左右方向を調整します。

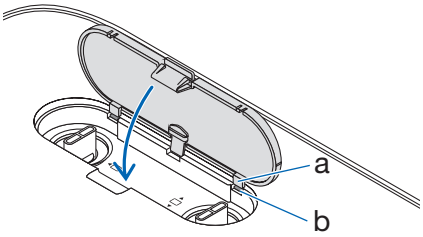


[注意]

- ダイヤルは 1 回転以上回すことができます。ただし、次ページの［参考］に記載の範囲を超えて投写位置を移動することはできません。
  また、ダイヤル機構が破損しますのでダイヤルを無理に回さないでください。
- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。
- 上下方向のレンズシフトは画面が上がる方向で調整を終えてください。
  画面が下がる方向で調整を終えた場合、ズームやフォーカスを調整する際や大きな震動が加わった際に画面が少し下がることがあります。

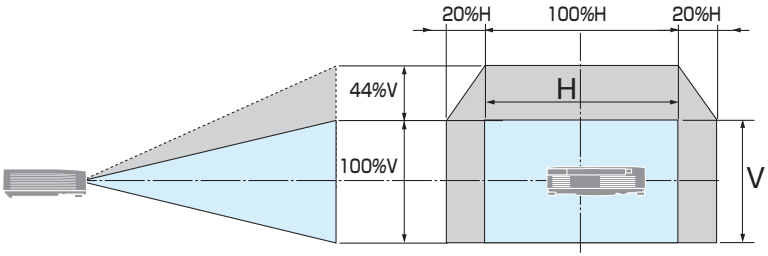
3. レンズシフトカバーを閉める。

カバーのツメⓐ（2 箇所）を本体のミゾⓑに入れてから、カバーを閉めます。



[参考]

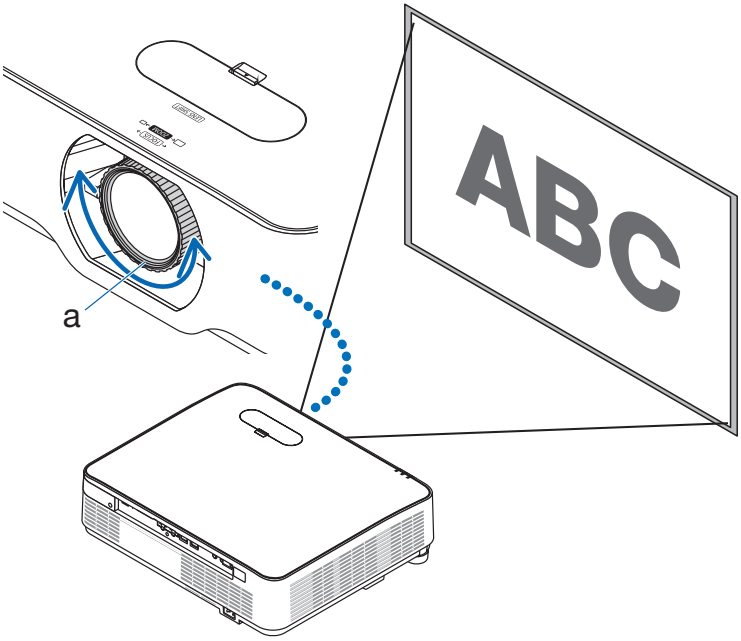
- 下図はレンズシフト調整範囲（投写方式：デスク／フロント）を示しています。
- 天吊り／フロント投写のレンズシフト調整範囲は 110 ページをご覧ください。



記号の意味：V は垂直（投写画面の高さ）、H は水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

1. フォーカスリングⓐを左右に回してピントを合わせる。

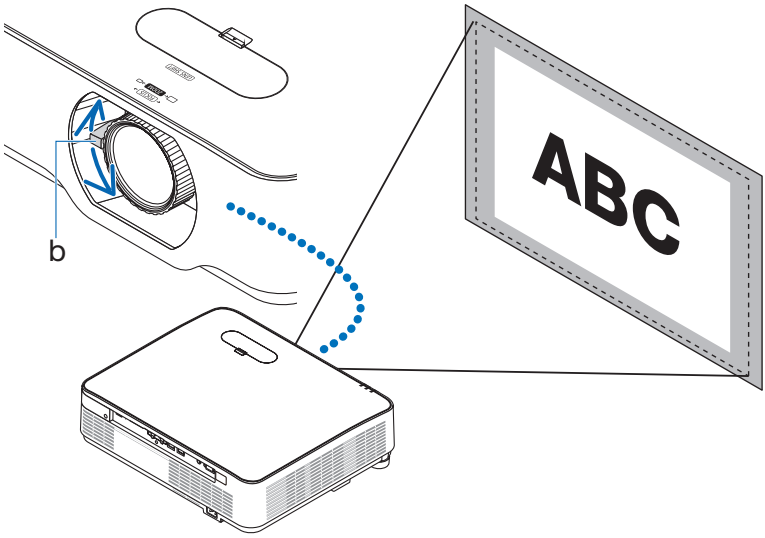


[参考]

- フォーカスは、テストパターンを投写した状態で 30 分以上経過したのちに調整することをおすすめします。
  テストパターンの表示については→ 83 ページをご覧ください。

投写画面の大きさの調整（ズームレバー）

1. ズームレバーⓑを左右に回す。



投写画面の高低と左右の傾き調整（チルトフット）

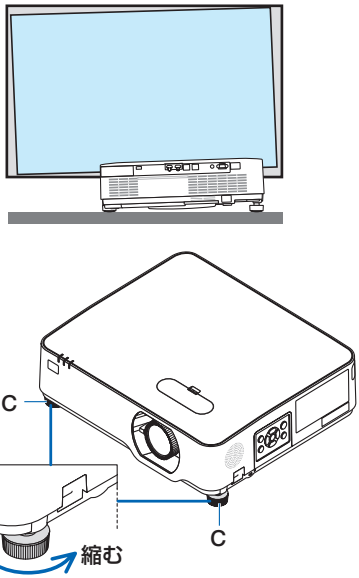
1. 左右のチルトフットⓒを回して調整する。

   チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。

   投写画面の高低は左と右のチルトフットを回して高さ調整をします。

   投写画面が傾いているときは、どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

   - 投写画面が歪んでいるときは「2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）」（→ 47 ページ）をご覧ください。
   - チルトフットは、最大 15mm 伸ばすことができます。
   - チルトフットにより、本機を最大約 2° 傾けることができます。



［注意］

- チルトフットは 15mm 以上伸ばさないでください。15mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。
  チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

2-6. 台形歪みを調整する（台形補正）

幾何学補正機能を使用すると、投写画面の台形歪みを調整できます。ここでは「水平 / 垂直台形補正」機能の手順について説明します。

● 本機の幾何学補正機能の種類について

本機は、以下のような 6 種類の幾何学補正機能を持っています。

- 各補正機能について詳しくは、75 ページをご覧ください。
- 幾何学補正した状態は、本機の電源を切った後も保持します。（工場出荷時は「補正」が「メモリー」に設定されています。）
  幾何学補正した状態を元に戻すには「リセット」を実行してください。

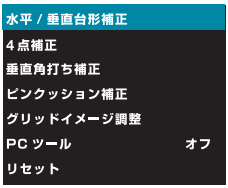
水平 / 垂直台形補補正	▲▼◀▶ボタンを使って水平方向および垂直方向の台形歪みを調整します。
4 点補正	投写画面の 4 つの角を調整して、台形歪みを補正します。
垂直角打ち補正	垂直方向に角になっている壁に投写するときに、画面の歪みを補正します。4 つの角に、上下の辺の中央 2 箇所を加えた 6 箇所を調整します。
ピンクッション補正	曲面に投写したときの湾曲した歪みを調整します。
グリッドイメージ調整	投写画面に表示された複数の調整ポイントを選んで、歪みを調整します。
PC ツール	本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。また、アプリケーションソフト ProAssist で調整して本機に登録した幾何学補正のデータを呼び出します。
リセット	調整した状態を元に戻します。

● 水平 / 垂直台形補正を行う

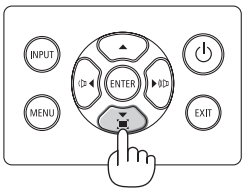
1. 本体操作部の▼（▣）ボタンを押す。

「幾何学補正」メニューが表示されます。

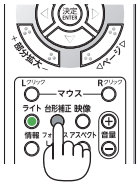
・リモコンで操作する場合は、台形補正ボタンを押します。



プロジェクター本体



リモコン



2. ▲ / ▼ボタンを押して「水平 / 垂直台形補正」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。

投写画面の中央に「水平 / 垂直台形補正」画面が表示されます。

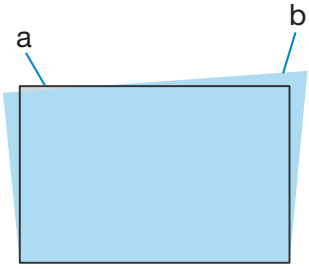


3. 「水平 / 垂直台形補正」画面が表示されているときに◀ / ▶ボタンを押して、投写画面の左右の傾きを調整する。

・調整した方向の「水平 / 垂直台形補正」画面内の三角マークが青色になります。三角マークが白色の状態は調整がされていないことを表します。



・「水平 / 垂直台形補正」画面が消えたら、もう一度本体操作部の▼ボタン（またはリモコンの台形補正ボタン）を押し、「水平 / 垂直台形補正」を選んで ENTER（決定）ボタンを押します。



a：スクリーンの枠 / b：投写画面

4. 「水平 / 垂直台形補正」画面が表示されているときに▲ / ▼ボタンを押して垂直方向の台形歪みを調整する。



5. 手順 3 と 4 を繰り返し、投写画面の台形歪みを調整する。



[参考]

- 水平 / 垂直台形補正の上限に達すると、三角マークが消えます。
- 調節可能な範囲は、信号入力のソースによって異なります。
- USB-A（ビューワー）使用時は、本体操作部の ▼ ボタンを押しても、幾何学補正メニューを表示できません。

2-7. 本機の音量を調整する

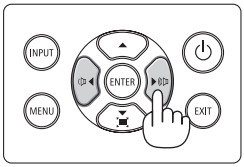
本機の内蔵スピーカーの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

● 本体の操作ボタンで調整する

1. オンスクリーンメニューが表示されていないときに、◀（🔈）/ ▶（🔊）ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

🔊 側	音量が大きくなります。
🔈 側	音量が小さくなります。



・音声調整バーが表示されているときに、▲/▼ボタンを押すと、一時的に音声を消すことができます。
再び音声を出すには、音声調整バーが消えた後、◀/▶ボタンを押します。



[注意]

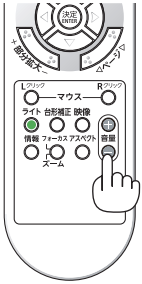
- オンスクリーンメニューが表示されているとき、および部分拡大＋ボタンで画面を拡大しているときは、◀/▶ボタンを使った音量調整はできません。

●リモコンを使って調整する

1. リモコンの音量 ＋/－ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

＋側	音量が大きくなります。
－側	音量が小さくなります。



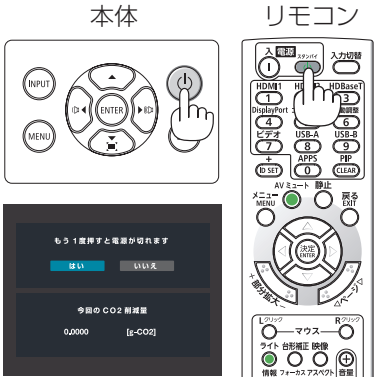
・音声調整バーが表示されているときに、▲/▼ボタンを押すと、一時的に音声を消すことができます。
再び音声を出すには、音声調整バーが消えた後、音量 ＋/－ボタンを押します。

・音声調整バーが表示されているときは、◀/▶ボタンでも音量を調整できます。



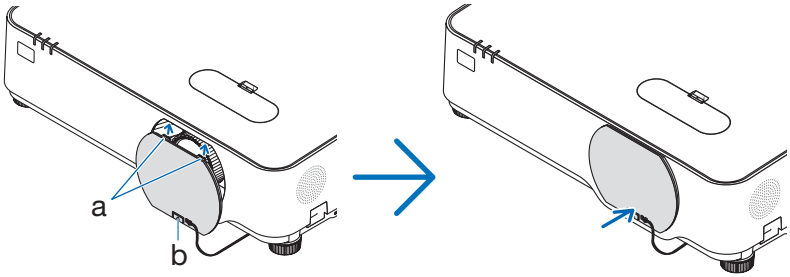
2-8. 本機の電源を切る

1. **ⓘ（電源）ボタンを押す。**
   画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。
   ・ リモコンで操作する場合は、電源スタンバイ（ⓘ）ボタンを押します。



2. **もう一度 ⓘ ボタンを押す。**
   光源が消灯し、電源が切れます。（スタンバイ状態）
   スタンバイ状態になると、電源インジケーターがオレンジ色で点滅します。（スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき）
   ・ 電源を切らない場合は、◀ / ▶ボタンで「いいえ」を選んで ENTER（決定）ボタンを押します。

3. **レンズキャップを取り付ける。**
   レンズキャップのツメⓐ（2 箇所）を本体のミゾに入れて、レンズキャップの下側を押し込みます。ストッパーⓑが本体に固定されます。



⚠ 注意	電源を切ったときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

[注意]

- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、ブレーカーなどを利用してください。
- 各種の調整をして調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

[参考]

- ライトモードを「静音」または「長寿命」に設定して使用していると、電源オフ確認メッセージの「今回の CO2 削減量」に 0 以外の数字が表示されます。

2-9. あとかたづけ

1. 電源コードのアース線をコンセントのアース端子から外す。

2. 電源コードのプラグをコンセントから抜く。

3. プロジェクターから電源コードを取り外す。

4. 各種信号ケーブルを取り外す。

・ 本機に USB メモリーを差している場合は取り外してください。

5. 移動させるとき、チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。

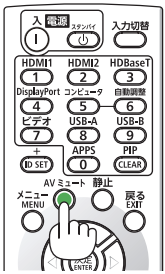
3. 便利な機能

3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）

1. リモコンの AV ミュートボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカーおよび音声出力端子から出力されている音声が一時的に消えます。

- もう一度 AV ミュートボタンを押すと、映像と音声が出ます。



[参考]

- 音声出力端子（ステレオミニ）からの音声もオフにできます。
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

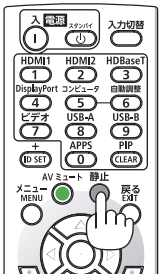
3-2. 動画を静止画にする（静止）

1. リモコンの静止ボタンを押す。

DVD プレーヤーの映像を投写しているときなど、動画が静止画になり、画面の左上に以下のアイコンが表示されます。



- もう一度静止ボタンを押すと、動画に戻ります。



[注意]

- 入力端子が USB-A のときは使用できません。

[参考]

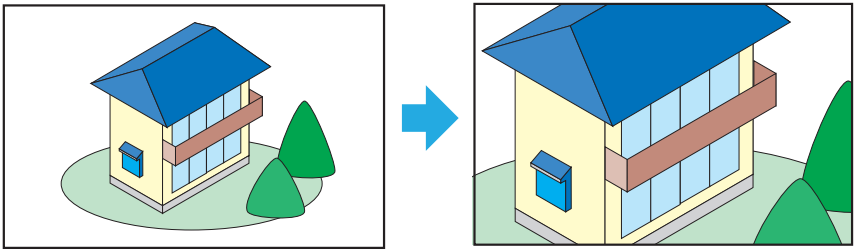
- 静止画にすると、そのときに投写されていた映像を本機のメモリーに保存し、メモリー内の映像（静止画）を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤーなどの映像再生は先に進行しています。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1. リモコンの部分拡大 ＋ボタンを押す。

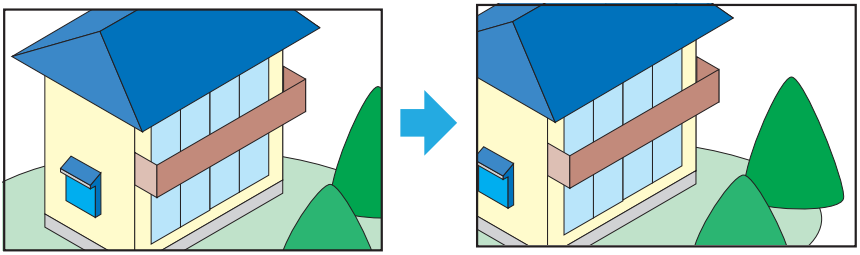
押すごとに映像が拡大します。

- 最大 4 倍まで拡大できます。



2. ▼▲◀▶ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。



3. 部分拡大 －ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

- 元のサイズに戻ると、それ以上押しても縮小されません。

[注意]

- 信号によっては、4 倍まで拡大できない場合があります。
- 入力端子が USB-A のときは使用できません。
- 本機に内蔵のテストパターンを表示しているときは使用できません。

[参考]

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- リモコンのアスペクトボタンを押すか、オンスクリーンメニューの「表示」→「アスペクト」を選択してアスペクトを変更すると、部分拡大は解除されます。

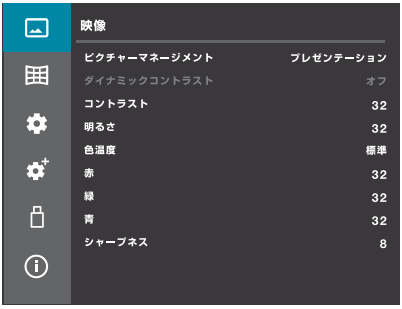
3-4. 輝度（明るさ）を調整する（ライトモード）

本機は、使用目的などに合わせて、3 つのライトモードを選択できます。また、出力を調整して、輝度（明るさ）を変えることができます。

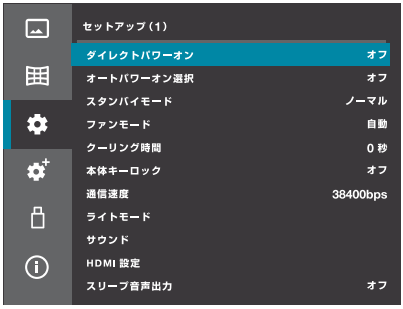
ライトモードの設定	説明
ノーマル	標準的なモードです。 ライト調整で、出力を 50 ～ 100%の範囲で調整できます。
静音	動作音を下げることを優先するモードです。 ライト調整で、出力を 50 ～ 90%の範囲で調整できます。
長寿命	光学部品の寿命を延ばすことを優先するモードです。 ライト調整で、出力を 50 ～ 80%の範囲で調整できます。

●ライトモードを切り替える

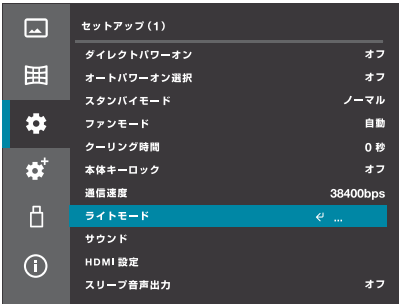
1. **MENU（メニュー）ボタンを押す。**
   オンスクリーンメニューが表示されます。



2. **▲ / ▼ ボタンを押して「セットアップ (1)」アイコンにカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンまたは▶ボタンを押す。**
   セットアップ (1) メニューが表示されます。

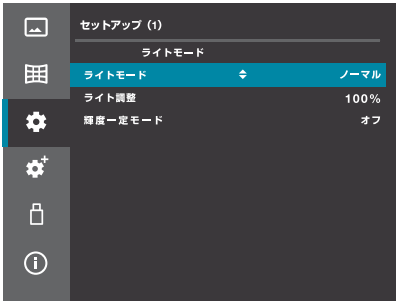


3. **▲ / ▼ボタンを押して「ライトモード」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンまたは▶ボタンを押す。**



4. **「ライトモード」にカーソルが合っていることを確認し、ENTER（決定）ボタンを押す。**
   カーソルの中央に「⟡」が表示されます。

5. **▲ / ▼ ボタンを押して目的のモード「ノーマル」→「静音」→「長寿命」を表示して、ENTER（決定）ボタンを押す。**



●ライト調整をする

1. **「ライト調整」にカーソルを合わせて、ENTER（決定）ボタンを押す。**
   カーソルの中央に「⟡」が表示されます。

2. **▲ / ▼ ボタンを押して調整して、ENTER（決定）ボタンを押す。**

[参考]

- リモコンの ライト ボタンを押すことで、「ライトモード」を素早く切り替えることができます。
  リモコンのライトボタンを押すと、画面の左上にそのとき設定されいるライトモードが表示されます。続けてライトボタンを押すごとに、「ノーマル」→「静音」→「長寿命」に順番に切り替わります。
  なお、この操作では「ライト調整」と「輝度一定モード」は変更できません。



4. ビューワー（USB-A）を使用する

4-1. ビューワーでできること

ビューワーには次のような特長があります。

- 画像を保存した市販の USB メモリーを本機の USB ポート（タイプ A）に差すと、USB メモリー内の画像を本機で投写することができます。これにより、コンピューターを使わずにプレゼンテーションができます。
- ビューワーで投写できる画像の種類は、JPEG、PNG、BMP、GIF、および TIFF です。
- 複数の画像を連続して投写する場合（スライドの再生）は、次の設定ができます。

効果	スライドを切り替える方向（右／下）を設定します。
ソート順	スライドを切り替える順番（名前順／時間順／サイズ順／拡張子順）を設定します。
回転	画像の回転方向（90˚／180˚／270˚）を設定します。
ベストフィット	画面に対する画像の表示サイズを設定します。
リピート	スライドの最後が表示された後の動作を設定します。

[注意]

- ビューワー画面では、リモコンの部分拡大ボタン、静止ボタンは使用できません。
- USB メモリーについて
  - 本機のビューワーで使用する USB メモリーは、FAT32 形式でフォーマットしてください。
  - 本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリーを認識できません。
  - 本機に差した USB メモリーが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。
  - フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。
  - 本機の USB ポートは、市販されているすべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
  - USB メモリーは、必要に応じてウィルスチェックを実施してください。
- 対応画像について

  ビューワーで投写できる画像は次のとおりです。

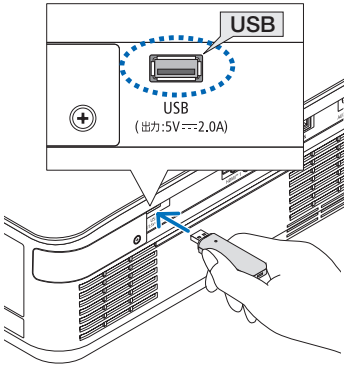
拡張子	形式	説明
jpg/jpeg	ベースラインエンコーダー 24 プログレッシブ RGB24 ビット	最大解像度：10000 X 10000 最大解像度：パネル解像度
bmp	1、4、8 ビットパレットベース RGB24、32 ビット	最大解像度：1280 X 800
png	24、48 ビット、トゥルーカラー	
gif	1、4、8 ビットパレットベース	
tiff		

4-2. USB メモリー内の画像を投写する（基本操作）

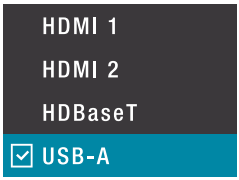
ここでは、ビューワーの基本操作を説明します。ビューワーのオプションメニューについては 88 ページをご覧ください。

1. 本機の電源を入れる。

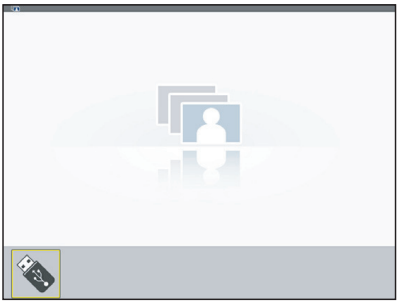
2 本機の USB ポート（タイプ A）に USB メモリーを差す。



3. INPUT（入力切替）ボタンを押す。
入力端子メニューを表示します。
・リモコンで操作する場合は、USB-A ボタンを押します。

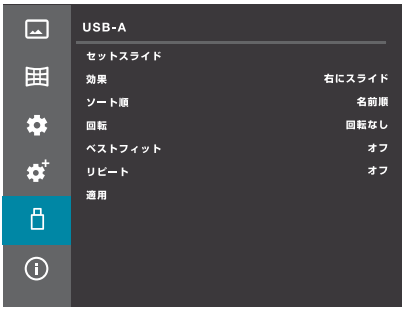


4. ▼/▲ボタンを押して「USB-A」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。
ビューワー画面に切り替わります。
・ビューワーを終了する場合は、入力切替ボタンを押して「USB-A」以外の端子を選択してください。



5. ビューワー画面で ENTER（決定）ボタンを押す。
USB メモリー内のフォルダーアイコンおよび画像アイコンが表示されます。

6. MENU（メニュー）ボタンを押し、▼/▲ボタンを押して USB-A メニューアイコンにカーソルを合わせる。
USB-A サブメニューが表示されます。



7. メニューの「効果」、「ソート順」、「回転」、「ベストフィット」、および「リピート」について必要な設定をする。

8. メニューの「適用」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。
手順 7 で設定した内容が適用されます。

9. メニューの「セットスライド」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。
スライド再生が開始されます。
・スライド再生を終了する場合は、EXIT（戻る）ボタンを押します。

[参考]

- 本機の電源を入れたときに、自動でスライドを再生することができます。
  投写する画像を USB メモリー内の「AUTO_PLAY」フォルダーに保存します。基本操作に従って設定した後、入力端子は「USB-A」を選択した状態で本機の電源を切ってください。「リピート」を設定すると、自動で再生したスライドを繰り返して投写します。

5. オンスクリーンメニュー

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

5-1-1. オンスクリーンメニュー画面の構成

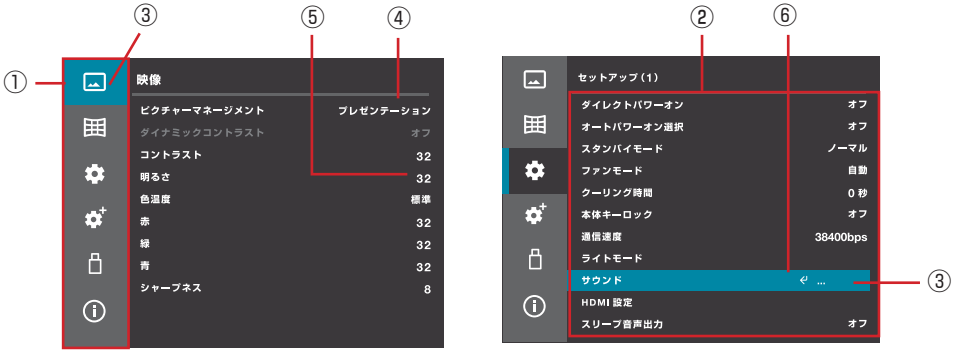
メニューを表示するには MENU（メニュー）ボタンを押します。また、メニューを消す場合は、EXIT（戻る）ボタンまたは MENU（メニュー）ボタンを押します。
ここではメニューの見かたや操作方法について説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1. **MENU（メニュー）ボタンを押す。**
   - EXIT（戻る）ボタンまたは MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニューが消えます。
   - 画面上におけるメニューの表示位置を変更することができます。（メニュー位置 → 69 ページ）
2. **▼ / ▲ ボタンを押す。**
   - メインメニューアイコン（「映像」⇔「画像設定」⇔「セットアップ (1)」⇔「セットアップ (2)」⇔「USB-A」⇔「情報」）にカーソルが移動します。
   - メインメニューアイコンが変わると、サブメニューも変わります。

アイコン	メインメニュー名
	映像
	画像設定
	セットアップ（1）
	セットアップ（2）
	USB-A【ビューワー】
	情報

3. **メインメニューアイコンにカーソルがある状態で、▶ または ENTER（決定）ボタンを押す。サブメニューにカーソルが移動します。**
   - サブメニューからメインメニューアイコンに戻る場合は、◀または EXIT（戻る）ボタンを押します。
   - MENU（メニュー）ボタンを押すと、メニューが消えます。
4. **▼ / ▲ ボタンを押して目的のサブメニューにカーソルを合わせる。**
   サブメニューの右端に表示されているマークや項目名は、キー操作を表しています。



メニュー画面例の説明

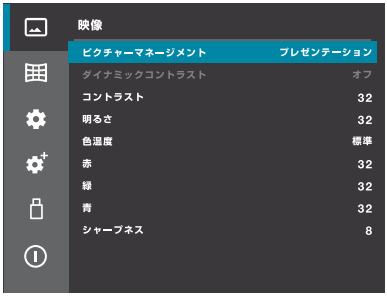
① メインメニューアイコン
② サブメニュー
③ カーソル
④ 項目名が表示されているときは、ENTER（決定）ボタンを押し、▼ / ▲ボタンを押すと、候補が切り替わります。ENTER（決定）ボタンを押して候補を ENTER（決定）します。
⑤ 数字が表示されているときは、ENTER（決定）ボタンを押し、▼ / ▲ボタンを押すと、数値が増減します。ENTER（決定）ボタンを押して数値を決定します。
⑥ ↵ が表示されているときは、ENTER（決定）ボタンを押すと、下の階層のメニューを表示します。

5-1-2. 数字や選択肢の変更

操作例として「コントラスト」の数値を変更する手順を説明します。

1. MENU（メニュー）ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示する。

2. ▶ または ENTER（決定）ボタンを押す。
「映像」のサブメニューにカーソルが移動します。



3. **▼ / ▲ ボタンを押して「コントラスト」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。**
   カーソルの中央に「⇳」が表示されます。



4. **▼ / ▲ボタンを押して数値を増減する。**



5. **ENTER（決定）ボタンを押す。**
   数値が決定し、カーソルの中央の「⇳」が消えます。

5-1-3. 確認メッセージ

調整値を初期設定に戻す場合などに確認メッセージが表示されます。
◀ / ▶ボタンを押して、「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押します。



5-2. オンスクリーンメニュー一覧

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メインメニュー	サブメニュー・設定値			参照ページ
映像	ピクチャーマネージメント	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、グラフィック、黒（緑）板、ユーザー		65
	ダイナミックコントラスト	オフ、モード 1、モード 2		
	コントラスト	0 – 63（32）		
	明るさ	0 – 63（32）		
	色温度	暖色、標準、寒色、ユーザー		66
	赤	0 – 63（32）		
	緑	0 – 63（32）		
	青	0 – 63（32）		
	シャープネス	0 – 15（8）		
画像設定	アスペクト	オート、ワイド、フル、4:3		67
	投写方法	デスク / フロント、デスク / リア、自動天吊り / フロント、自動天吊り / リア、天吊り / フロント、天吊り / リア		
	メニュー位置	上端 - 左端、上端 - 右端、中央、下端 - 左端、下端 - 右端		69
	メニュー表示時間	手動、自動 45 秒		
	バックグラウンド	ブルーバック、ブラックバック、ロゴ		
	コンバージェンス	水平 赤、水平 緑、水平 青、垂直 赤、垂直 緑、垂直 青		
セットアップ（1）	ダイレクトパワーオン	オフ、オン		70
	オートパワーオン選択	オフ、HDMI1、HDMI2		
	スタンバイモード	ノーマル、ネットワークスタンバイ、スリープ		71
	ファンモード	自動、高速、高地		
	クーリング時間	0 秒、30 秒、60 秒		72
	本体キーロック	オフ、オン		
	通信速度	4800bps、9600bps、19200bps、38400bps		
	ライトモード	ライトモード	ノーマル、静音、長寿命	
		ライト調整	50% – 100%	
		輝度一定モード	オフ、オン	73
	サウンド	音量	0 – 25（12）	
		消音	オフ、オン	
	HDMI 設定	ビデオレベル	自動、ノーマル、エンハンスト	
	スリープ音声出力	オフ、オン		74

メインメニュー	サブメニュー・設定値			参照ページ
セットアップ（2）	言語	ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、PORTUGUÊ、NEDERLANDS、SVENSKA、SUOMI、NORSK、他（全 25 言語）		74
	オートセットアップ	入力検索	オフ、オン	
		自動台形補正	オフ、オン	
	幾何学補正	補正	メモリー、リセット	75
		水平 / 垂直台形補正		76
		4 点補正		
		垂直角打ち補正		77
		ピンクッション補正	ピンクッション補正 X/Y ゲイン、ピンクッション補正 X オフセット、ピンクッション補正 Y オフセット	78
		グリッド イメージ 調整		81
		PC ツール	オフ、1、2、3	
		リセット		
	スタートアップロック	暗証番号ロック	オフ、オン	81, 82
		暗証番号変更		82
	パワーマネージメント	待機、シャットダウン、オフ		83
		タイマー	1 – 30（5）	
		待機秒読み	0 – 30（5）	
	テストパターン	オフ、グレースケール（1–4）、カラーバー、赤、緑、青、クロスハッチ、ホワイト、黒、灰色のラスター、フォーカス		
	ネットワーク設定	ネットワーク設定	インターフェース（LAN、HDBaseT） プロファイル（無効、有効） DHCP（オフ、オン） IP アドレス サブネットマスク ゲートウェイ DNS	84
		ネットワーク情報		85
		MAC アドレス		
		IP アドレス		
		ネットワーク状態		

メインメニュー	サブメニュー・設定値			参照ページ
セットアップ (2)	ネットワークサービス	HTTP サーバー	オフ、オン	85
		AMX ビーコン	オフ、オン	
		PJLink	オフ、オン	
		Crestron	オフ、オン	
		PC CONTROL	オフ、オン	
		SEARCH	オフ、オン	
	コントロール ID	コントロール ID	オフ、オン	86
		コントロール ID 番号	1-254（1）	
	工場初期化			87
USB-A	セットスライド			88
	効果	下にスライド、右にスライド		
	ソート順	拡張子順、名前順、時間順、サイズ順		
	回転	回転なし、270˚、180˚、90˚		
	ベストフィット	オン / オフ		
	リピート	オン / オフ		
	適用			
情報	入力			89
	水平同期周波数			
	垂直同期周波数			
	ライト使用時間			
	モデル名			
	SERIAL NUMBER			
	バージョン			
	SUBCPU			
	IP アドレス			

5-3. 映像

5-3-1. ピクチャーマネージメント

投写した映像に最適な設定を選択します。

高輝度モード	最も明るい映像になります。明るい空間での使用に適しています。
プレゼンテーション	明るく色鮮やかな映像になります。コンピューター系信号のコンテンツを投映するときに適しています。
ビデオ	自然で色鮮やかな映像になります。テレビや一般的な映像のコンテンツを投映するときに適しています。
グラフィック	自然で色再現性の高い映像になります。暗い空間で写真や絵画、サイネージなどのコンテンツを投映するときに適しています。
黒（緑）板	緑色の黒板に投写するときに適しています。
ユーザー	以下の色彩調整（コントラスト、明るさ、色温度、赤、緑、青、シャープネス）を変更すると「ユーザー」と表示されます。

5-3-2. ダイナミックコントラスト

映像に応じて光源出力を自動調整することで、最適なコントラストの映像にします。

オフ	コントラストの最適化はされません。
モード 1	明るさを優先してコントラストを最適化します。
モード 2	明るさを抑えてコントラストを最適化します。

[注意]

- 以下の場合は、ダイナミックコントラストを選択できません。
  - ・ライトモードが「静音」または「長寿命」の場合
  - ・輝度一定モードが「オン」の場合

5-3-3. コントラスト

映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。

5-3-4. 明るさ

映像を明るくしたり、暗くします。

5-3-5. 色温度

赤、緑、青の各色の色味を調整します。

暖色	画面全体を赤色っぽくします。 「標準」の色温度から、およそ 500K 低くなります。
標準	画面全体を中間の色合いにします。 工場出荷時の色温度は、およそ 7800K です。
寒色	画面全体を青っぽくします。 「標準」の色温度から、およそ 500K 高くなります。
ユーザー	次の「赤」、「緑」、「青」の値を個別に調整すると「ユーザー」と表示されます。

[参考]

- 色温度は、ピクチャーマネージメントとライトモードの設定によって変わります。

5-3-6. 赤／緑／青

画面全体の「赤」、「緑」、「青」の色合いを個別に調整します。

5-3-7. シャープネス

映像をくっきりしたり、やわらかくします。

5-4. 画像設定

5-4-1. アスペクト

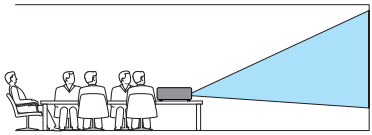
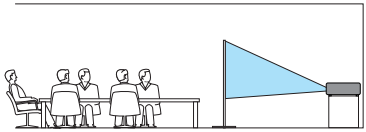
画面の縦横比を選択します。

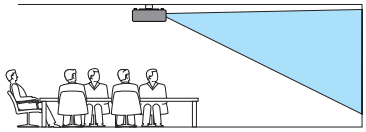
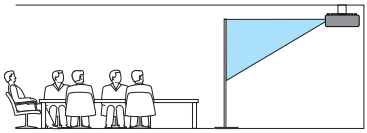
オート	入力信号のアスペクトは変更せず、最大サイズを使用して投写します。
ワイド	画像を 16:9 のアスペクト比で投写します。
フル	画像を最大限に投写します。
4:3	画像を 4:3 のアスペクト比で投写します。

5-4-2. 投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

警告	天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。 お客様による設置は絶対にしないでください。落下してけがの原因となります。

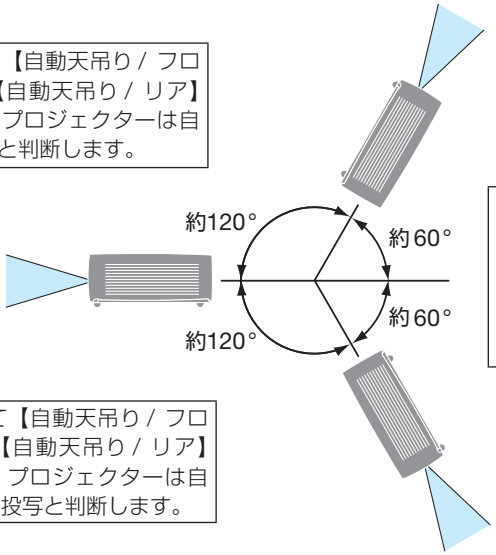
デスク / フロント	プロジェクターをテーブル上に設置し、スクリーンの正面で投写する場合。 
デスク / リア	プロジェクターをテーブル上に設置し、スクリーンの背面で投写する場合（半透明のスクリーンを使用）。 
自動天吊り / フロント	プロジェクターをスクリーンの正面から投写する場合、内蔵の角度センサーがプロジェクターの角度を自動的に検出した後、【デスク / フロント】または【天吊り / フロント】に切り替えます。スクリーンの正面から投写する場合は、この項目を選択してください。

自動天吊り / リア	プロジェクターをスクリーンの背後から投影する場合、内蔵の角度センサーがプロジェクターの角度を自動的に検出した後、【デスク / リア】または【天吊り / リア】に切り替えます。 スクリーンの背後から投影する場合は、この項目を選択してください。
天吊り / フロント	天吊り金具（別売）を使用してスクリーンの正面でプロジェクターを高い位置に設置する場合。 
天井 / リア投写	天吊り金具（別売）を使用してスクリーンの背後からプロジェクターを高い位置に設置する場合（半透明のスクリーンを使用）。 

[参考]

- 角度センサーについて
  プロジェクターに内蔵している角度センサーが検出できる角度範囲は下図のとおりです。

投写方法として【自動天吊り / フロント】または【自動天吊り / リア】を選択すると、プロジェクターは自動的に正面投写と判断します。



投写方法として【自動天吊り / フロント】または【自動天吊り / リア】を選択すると、プロジェクターは自動的に天吊り投写と判断します。

投写方法として【自動天吊り / フロント】または【自動天吊り / リア】を選択すると、プロジェクターは自動的にフロント投写と判断します。

5-4-3. メニュー位置

オンスクリーンメニューの表示位置を変更します。

上端 - 左端	メニューはスクリーンの左上コーナーに表示されます。
上端 - 右端	メニューはスクリーンの右上コーナーに表示されます。
中央	メニューはスクリーンの中央に表示されます。
下端 - 左端	メニューはスクリーンの左下コーナーに表示されます。
下端 - 右端	メニューはスクリーンの右下コーナーに表示されます。

5-4-4. メニュー表示時間

オンスクリーンメニューの表示時間を選択します。

手動	メニューを表示し続けます。メニューを閉じるときは MENU（メニュー）ボタンを押します。
自動 45 秒	ボタン操作が 45 秒間ないと、メニューを自動で閉じます。

5-4-5. バックグラウンド

入力信号がないときに背景色を選択します。

ブルーバック	投写エリア全体が青く表示されます。
ブラックバック	投写エリア全体が黒く表示されます。
ロゴ	登録したロゴ画像が表示されます。 工場出荷時は、ブラックバック（ロゴ画像なし）が表示されます。

[注意]

- 入力信号に USB-A を選択しているとき、この機能は無効になります。

[参考]

- ロゴ画像の書き換えは、本機の HTTP サーバー機能を使用します。（→ 104 ページ）

5-4-6. コンバージェンス

画面の色ずれを調整します。

水平 赤、水平 緑、水平 青は水平方向、垂直 赤、垂直 緑、垂直 青は垂直方向に± 1 画素の調整ができます。

5-5. セットアップ（1）

5-5-1. ダイレクトパワーオン

本機に電源コードを接続したとき、または本機に電源が供給されたときの動作について設定します。

オフ	本機に電源コードを接続する、または本機に電源が供給されると、スタンバイ状態になります。電源を入れるには、電源ボタンを押します。
オン	本機に電源コードを接続する、または本機に電源が供給されると、自動的に本機の電源が入ります。

[注意]

- 電源を切った後、電源コードを抜いて約 20 秒間待ってから電源コードを接続してください。短時間に電源の切り入りや電源コードの抜き差しをすると、本機が正常に動作しない場合があります。

5-5-2. オートパワーオン選択

本機がスタンバイ状態のとき、HDMI 信号が入力されると自動的に映像を投写する機能です。

オフ	オートパワーオン機能は働きません。
HDMI1	HDMI1 入力端子で信号を検出すると、映像を投写します。
HDMI2	HDMI2 入力端子で信号を検出すると、映像を投写します。

[注意]

- 「オートパワーオン選択」を「HDMI1」または「HDMI2」に設定すると、「スタンバイモード」はグレー表示になり選択できません。
- 「オートパワーオン選択」を「HDMI1」に設定したときは、HDMI 1 入力端子の映像を投写した状態で電源を切ってください。同様に「オートパワーオン選択」を「HDMI2」に設定したときは、HDMI 2 入力端子の映像を投写した状態で電源を切ってください。

5-5-3. スタンバイモード

本機がスタンバイ状態のとき動作モードを選択します。

ノーマル	このモードでは電力消費量は「ネットワーク スタンバイ」または「スリープ」モードよりも低くなりますが、このモードを選択すると LAN ポートで本機を制御できません。 本機の電源をオンにするには、本体操作部またはリモコンの電源ボタンを押してください。
ネットワーク スタンバイ	このモードの電力消費量は「ノーマル」モードよりは高くなりますが、LAN を介して「Wake on LAN」機能を使用するとスタンバイ状態から本機の電源をオンにできます。 「Wake on LAN」機能の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
スリープ	このモードの電力消費量は「ネットワーク スタンバイ」モードより高くなりますが、制御用のソフトウェアを使用してプロジェクターの電源をオンにできます。

5-5-4. ファンモード

本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

自動	本機内部の温度センサーにより、適切な速度で回転します。
高速	常に高速で回転します。
高地	標高約 1600m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。

[注意]

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1600m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1600m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。
  さらに、光源が消灯後内部の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 高地で使用すると、光学部品（光源など）の交換時期が早まる場合があります。

5-5-5. クーリング時間

本機の電源を切った後に冷却ファンを回転する時間を設定します。
冷却ファンが回転中は、POWER（電源）インジケーターが緑色で点滅します。
冷却ファンが回転中は、電源コードを抜かないでください。

0 秒	本機の電源を切った後、冷却ファンを回転しません。
30 秒	本機の電源を切った後、30 秒間、冷却ファンを回転します。
60 秒	本機の電源を切った後、60 秒間、冷却ファンを回転します。

5-5-6. 本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが利きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

[参考]

- 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

5-5-7. 通信速度

RS-232C 端子のデータ転送速度を設定します。接続する機器と転送速度を合わせてください。

5-5-8. ライトモード

使用目的などに合わせてライトモードを選択できます。また、出力を調整して輝度（明るさ）を変えることができます。

ライトモード

ノーマル	標準的なモードです。
静音	動作音を下げることを優先するモードです。
長寿命	光学部品の寿命を延ばすことを優先するモードです。

ライト調整

ライトモードごとに出力を 1%刻みで調整して保存できます。
調整範囲はライトモードの設定により異なります。

ノーマル：50 ～ 100%
静音　　：50 ～ 90%
長寿命　：50 ～ 80%

輝度一定モード

オフ	輝度一定モードが解除されます。
オン	明るさを一定に保つように制御します。

[注意]

- 輝度一定モードを「オン」に設定している場合は、ライトモードとライト調整は選択できません。

[参考]

- 通常は使用時間に応じて輝度が下がりますが、輝度一定モードを設定すると、使用時間に応じて出力を自動調整し、輝度を維持できます。
  ただし、出力が最大になった後は、使用時間に応じて輝度が下がります。

5-5-9. サウンド

本機から出力する音声を調整します。

音量	◀ ボタンを押すと音量が下がり、▶ ボタンを押すと音量が上がります。範囲は 0 ～ +25 です。
消音	「オフ」を選択すると音声が出力され、「オン」を選択すると音声が出力されません。

5-5-10. HDMI 設定

HDMI 1 または HDMI 2 入力端子に接続されている機器の出力状態に合わせて設定を変更します。

ビデオレベル

自動	HDMI 信号レベルのフルレンジとリミテッドレンジを自動的に判別します。正しく自動判別できていない場合は手動で「ノーマル」または「エンハンスト」に切り替えてください。
ノーマル	HDMI 信号レベルがフルレンジに設定されている機器と接続する場合に選択します。
エンハンスト	HDMI 信号レベルがリミテッドレンジに設定されている機器と接続する場合に選択します。

5-5-11. スリープ音声出力

本機がスリープ状態のときに、音声出力端子から音声信号を出力するかしないかを選択します。

[注意]

- スリープ音声出力を「オン」に設定すると、スタンバイモードはグレー表示になり選択できません。

5-6. セットアップ（2）

5-6-1. 言語

メニューに表示される言語を選択します。
言語は、オンスクリーンメニューの「工場初期化」を実行すると、英語に戻ります。

5-6-2. オートセットアップ

入力信号の自動検索、コンピューター映像信号の自動調整、および自動台形補正について、オンとオフを設定します。

入力検索

オフ	入力切替ボタンを押して、手動で入力信号を選択します。
オン	自動的に入力信号を検出し、映像を投写できます。

自動台形補正

オフ	手動で「台形補正」を操作します。
オン	本機の傾きを感知して、投写された映像の垂直方向の台形歪みを自動的に調整します。

[注意]

- 「自動台形補正」を「オン」に設定しても自動台形補正ができない場合があります。
- オンスクリーンメニューの「投写方法」で「天吊り / フロント」または「天吊り / リア」を設定しているとき、自動台形補正は働きません。
- オンスクリーンメニューの「投写方法」で「自動天吊り / フロント」または「自動天吊り / リア」を設定し、本機を天井に取り付けたとき、自動台形補正は働きません。
- 「入力検索」を「オン」に設定しているとき、USB-A 端子は検索できません。

5-6-3. 幾何学補正

傾いたり湾曲したスクリーンに投写すると、投写画面は歪み、スクリーンからはみ出します。
その場合、本機の「幾何学補正」機能を使って、投写画面がスクリーン内に収まるよう、調整します。
オンスクリーンメニューで「幾何学補正」を選択すると、幾何学補正メニューが表示されます。
本機は、以下のような 6 種類の幾何学補正機能を持っています。

- 水平 / 垂直台形補正
- 4 点補正
- 垂直角打ち補正
- ピンクッション補正
- グリッドイメージ調整
- PC ツール

- 幾何学補正した状態は、本機の電源を切った後も保持します。(工場出荷時は「補正」が「メモリー」に設定されています。)
  幾何学補正した状態を元に戻すには「リセット」を実行してください。
- 6 種類の補正機能には、組み合わせて調整できないものがあります。
  いずれかの調整をすると、組み合わせができない補正機能はグレー表示になり選択できなくなります。
  組み合わせができない補正機能に切り替えて調整する場合は、「リセット」を実行してください。

補正機能の組み合わせ

	水平 / 垂直台形補正	4 点補正	垂直角打ち補正	ピンクッション補正	グリッドイメージ調整	PC ツール
水平 / 垂直台形補正		×	×	×	×	×
4 点補正	×		×	×	×	×
垂直角打ち補正	×	×		○	○	×
ピンクッション補正	×	×	○		○	×
グリッドイメージ調整	×	×	○	○		×
PC ツール	×	×	×	×	×	

○：調整可　×：調整不可

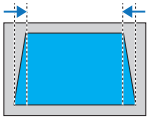
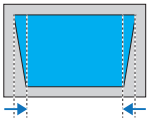
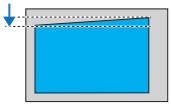
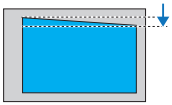
- 本機に内蔵しているテストパターンの「クロスハッチ」を表示すると、調整の手助けとなります。(→ 83 ページ)

補正

メモリー	本機の電源を切った後も、幾何学補正をした値を保持します。
リセット	本機の電源を切ると、幾何学補正をした値を元に戻します。

水平 / 垂直台形補正

▲▼◀▶ボタンを使って水平方向および垂直方向の台形歪みを調整します。
操作については、47 ページをご覧ください。

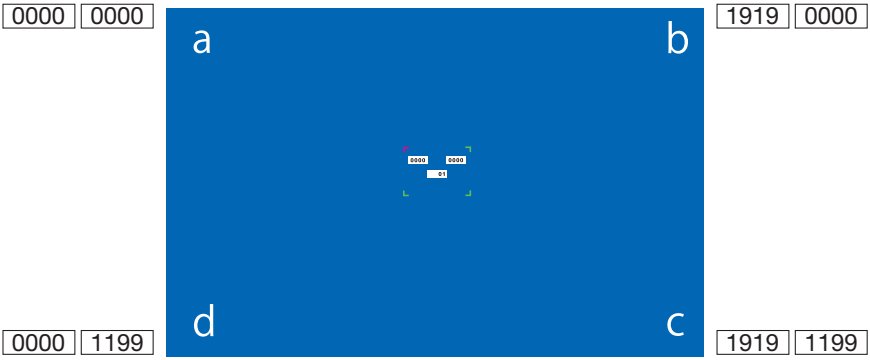
▲ ボタンを押すと、上辺の幅が減ります。	▼ ボタンを押すと、下辺の幅が減ります。	◀ ボタンを押すと、左辺の幅が減ります。	▶ ボタンを押すと、右辺の幅が減ります。
			

4 点補正

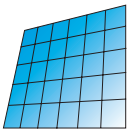
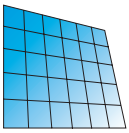
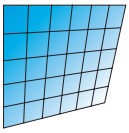
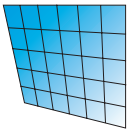
投写画面の 4 つの角を調整して、台形歪みを補正します。
ENTER ボタンを押して調整する場所を選択します。選択した場所のマーカーは赤色に変わります。
水平方向は◀ / ▶ボタン、垂直方向は▲ / ▼ボタンで調整します。

投写画面に表示される数字は、以下を表しています。

左側：X 座標（水平方向）
右側：Y 座標（垂直方向）
中央：初期値のとき、または補正範囲の最大まで調整したときに 01 を表示します。



補正イメージ

a	b	c	d
			

垂直角打ち補正

垂直方向に角になっている壁に投写するときに、画面の歪みを補正します。

4 つの角に、上下の辺の中央 2 箇所を加えた合計 6 箇所を調整します。

ENTER ボタンを押して調整する場所を選択します。選択した場所のマーカーは赤色に変わります。

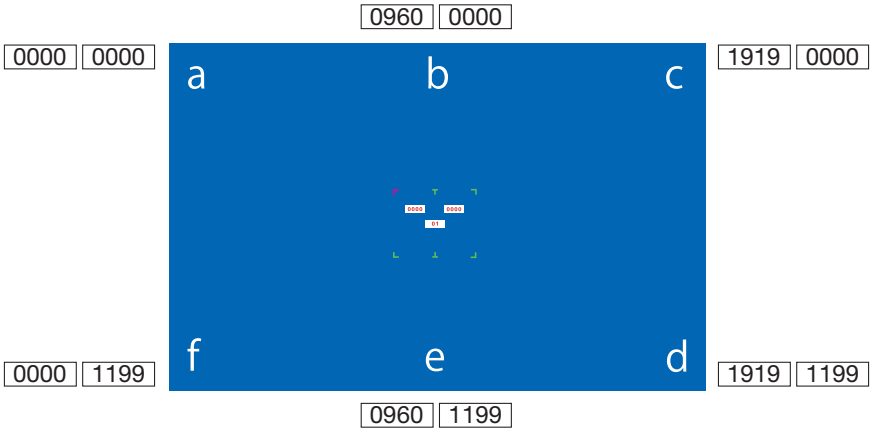
水平方向は◀ / ▶ボタン、垂直方向は▲ / ▼ボタンで調整します。

投写画面に表示される数字は、以下を表しています。

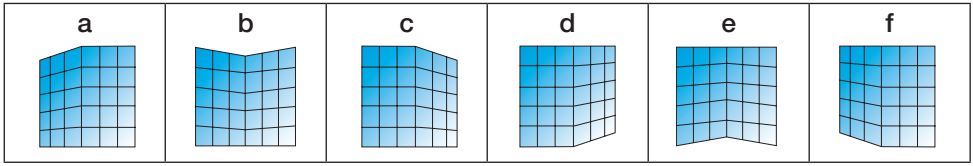
左側：X 座標（水平方向）

右側：Y 座標（垂直方向）

中央：初期値のとき、または補正範囲の最大まで調整したときに 01 を表示します。



補正イメージ

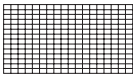
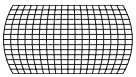
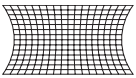
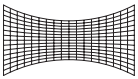
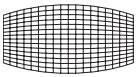


ピンクッション補正

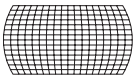
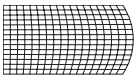
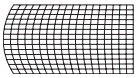
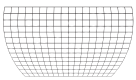
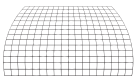
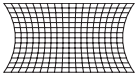
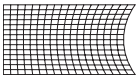
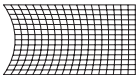
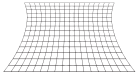
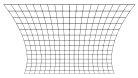
曲面に投写したときの湾曲した歪みを調整します。
湾曲スクリーン補正は、3 つのモードに別れています。ENTER（決定）ボタンを押すと切り替わります。

① ピンクッション補正 X/Y ゲイン → **② ピンクッション補正 X オフセット** → **③ ピンクッション補正 Y オフセット**

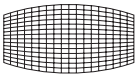
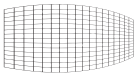
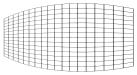
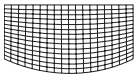
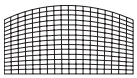
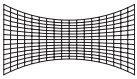
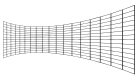
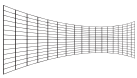
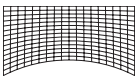
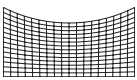
① ピンクッション補正 X/Y ゲイン

補正前	操作	補正後	説明
	◀ボタン		左辺と右辺を左右に広げる。
	▶ボタン		左辺と右辺を内向きに縮める。
	▲ボタン		上辺と下辺を内向きに縮める。
	▼ボタン		上辺と下辺を上下に広げる。

② ピンクッション補正 X オフセット

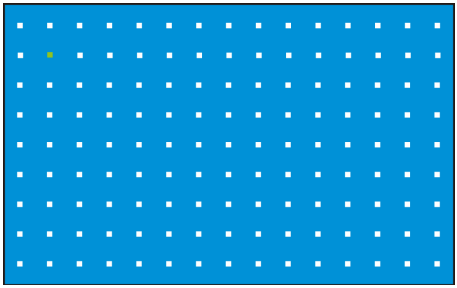
補正前	操作	補正後	説明
	◀ボタン		左側の歪みを補正する。 右側の歪みを維持しつつ、左辺の上下を外向きに広げる。
	▶ボタン		右側の歪みを補正する。 左側の歪みを維持しつつ、右辺の上下を外向きに広げる。
	▲ボタン		左右の歪みを補正する。 上部の左右を外向きに広げ、下部の左右を内向きに縮める。
	▼ボタン		左右の歪みを補正する。 下部の左右を外向きに広げ、上部の左右を内向きに縮める。
	◀ボタン		左側の歪みを補正する。 右側の歪みを維持しつつ、左辺の中央を外向きに広げる。
	▶ボタン		右側の歪みを補正する。 左側の歪みを維持しつつ、右辺の中央を外向きに広げる。
	▲ボタン		左右の歪みを補正する。 下部の歪みを維持しつつ、上部の左右を内向きに縮める。
	▼ボタン		左右の歪みを補正する。 上部の歪みを維持しつつ、下部の左右を内向きに縮める。

③ ピンクッション補正 Y オフセット

補正前	操作	補正後	説明
	◀ボタン		上下の歪みを補正する。 左辺の上下を外向きに広げ、右辺の上下を内向きに縮める。
	▶ボタン		上下の歪みを補正する。 右辺の上下を外向きに広げ、左辺の上下を内向きに縮める。
	▲ボタン		上側の歪みを補正する。 下側の歪みを維持しつつ、上辺の左右を上向きに広げる。
	▼ボタン		下側の歪みを補正する。 上側の歪みを維持しつつ、下辺の左右を下向きに広げる。
	◀ボタン		上下の歪みを補正する。 右側の歪みを維持しつつ、左辺の上下を内向きに縮める。
	▶ボタン		上下の歪みを補正する。 左側の歪みを維持しつつ、右辺の上下を内向きに縮める。
	▲ボタン		上側の歪みを補正する。 下側の歪みを維持しつつ、上辺の中央を上向きに広げる。
	▼ボタン		下側の歪みを補正する。 上側の歪みを維持しつつ、下辺の中央を下向きに広げる。

グリッドイメージ調整

投写画面全体に表示された複数の調整ポイントの中から 1 つを選んで、▲▼◀▶ボタンを使って歪みを調整します。



PC ツール

本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。
登録データは 3 つあります。
また、アプリケーションソフト ProAssist で調整して本機に登録した幾何学補正のデータを呼び出します。
ProAssist を使うと、円柱面や球面等の特殊形状スクリーンに投写するときの歪みを補正することができます。

リセット

調整した状態を元に戻します。

[注意]

- 最大補正範囲は、垂直および水平で± 30˚ です。ただし、画質が劣化し、フォーカスが合わせづらくなります。プロジェクターでは最小限の補正値を使用してください。
- 幾何学補正は画像のアスペクトに影響を与える可能性があります。

5-6-4. スタートアップロック

本機に「暗証番号」(3 桁の数字) を設定することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。
スタートアップロックを有効に設定すると、本機の電源を入れたときに暗証番号入力画面が表示され、正しい暗証番号を入力しなければ投写できなくなります。

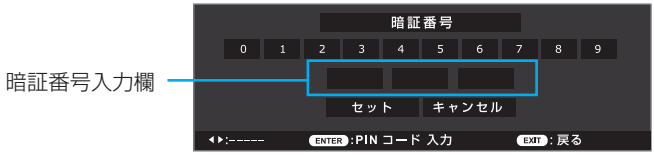
[重要]

- 設定した暗証番号を忘れないように記録して保管してください。
- 暗証番号を入力するときに、周囲の人に暗証番号を盗み見られて悪用されないように、暗証番号の入力に細心の注意を払ってください。
  もし盗み見られたと思った場合は、速やかに暗証番号を変更してください。

暗証番号ロック

「暗証番号ロック」を選択すると、暗証番号（3 桁の数字）入力画面が表示されますので、暗証番号を入力してください。工場出荷時の暗証番号は「111」が設定されています。

オフ	暗証番号ロック機能は利用できません。
オン	本機の電源を入れると、「暗証番号」入力画面が表示されます。



【暗証番号の入力方法】

1. 暗証番号入力画面で ENTER（決定）ボタンを押す。
   「0」の枠と暗証番号入力欄の左側の枠の色が青色に変わります。
2. ▶ボタンを押す。
   「1」の枠の色が青色に変わります。
3. ENTER（決定）ボタンを押す。
   暗証番号入力欄の左側の枠に「1」が入力され、右隣りの枠の色が青色に変わります。
   入力された「1」は、しばらくすると「＊」に変わります。
4. ENTER（決定）ボタンを押す。
   暗証番号入力欄の中央の枠に「1」が入力され、右隣りの枠の色が青色に変わります。
5. ENTER（決定）ボタンを押す。
   暗証番号入力欄の右側の枠に「1」が入力され、「セット」が青色に変わります。
6. 「セット」にカーソルが合っていることを確認し、ENTER（決定）ボタンを押す。
   暗証番号入力画面が消えます。

暗証番号変更

工場出荷時の暗証番号「111」を任意の数字に変更することができます。
「暗証番号変更」を選択すると、暗証番号入力画面が表示されますので、現在の暗証番号を入力してください。
次に、新暗証番号入力画面が表示されます。新しい暗証番号を入力します。

[参考]

- 暗証番号を忘れてしまった場合の対処について
  - オンスクリーンメニューを表示できる場合は、「セットアップ（2）」→「工場初期化」を実行してください。
    なお、「工場初期化」を実行すると、すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。
  - オンスクリーンメニューを表示できない場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

5-6-5. パワーマネージメント

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の光源を消したり電源を切ります。
各モード（待機、シャットダウン、オフ）と、時間を設定します。

待機	下記の「タイマー」で設定した時間に達すると、待機モード（光源がオフの状態）に移行します。 待機モードになると、POWER（電源）インジケーターが緑色で点滅します。 待機モード中に入力信号を検出するか、本体操作部またはリモコンのボタン（電源ボタン以外）が押されると、光源は再びオンになります。
シャットダウン	下記の「タイマー」で設定した時間に達すると、本機の電源が切れスタンバイ状態になります。
オフ	パワーマネージメント機能を無効にします。

タイマー

光源がオフになるまでの時間、または本機がシャットダウンするまでの時間を設定します。
1 ～ 30 分の範囲で設定できます。工場出荷時は「5 分」が設定されています。
本機が無信号状態になり、そのままボタン操作が 30 秒間なければ、画面の右下に「無信号」と待機モード（光源がオフの状態）に移行するまでの残り時間、または本機がシャットダウンするまでの時間が表示されます。



待機秒読み

待機モードになった後、本機の電源を切りスタンバイ状態になるまでの時間（0 ～ 30 分）を設定します。工場出荷時は「5 分」が設定されています。「0 分」に設定すると待機モードを維持します。

5-6-6. テストパターン

本機に内蔵している数種類のテストパターンを表示します。
投写画面のフォーカス調整や幾何学補正をする際に、テストパターンを表示してください。
テストパターン画面を元の画面に戻すには、MENU（メニュー）ボタンを押して、もう一度「テストパターン」を選択し、「オフ」にカーソルを合わせ ENTER（決定）ボタンを押します。

5-6-7. ネットワーク設定

ネットワークを介してコンピューターから本機を制御する際、本機をネットワークに接続するためネットワーク設定をします。

- ネットワーク設定をする前に、本機とルーターなどをLANケーブルで接続してください。（→ 91 ページ）
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を変更する手順は、96 ページをご覧ください。
- ネットワーク設定を変更したら、▲ / ▼ボタンを押して「セット」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押します。



インターフェース	有線 LAN の接続に LAN ポートを使用する場合は「LAN」、HDBaseT ポートを使用する場合は「HDBaseT」を選択します。
プロファイル	カーソルを合わせ ENTER（決定）ボタンを押します。▲ / ▼ボタンを押して「無効」または「有効」に切り替えて ENTER（決定）ボタンを押します。 無効… 有線 LAN を無効にします。 有効… 有線 LAN を有効にします。
DHCP	カーソルを合わせ ENTER（決定）ボタンを押します。▲ / ▼ボタンを押して「オン」または「オフ」に切り替えて ENTER（決定）ボタンを押します。 オフ… ネットワーク管理者から割り当てられた任意の IP アドレスやサブネットマスクを手動で設定します。 オン… DHCP サーバーによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。
IP アドレス	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。
ゲートウェイ	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。

次ページへ続く

DNS	「DHCP」を「オフ」にした場合に、本機を接続するネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

ネットワーク情報

MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。
IP アドレス	本機の IP アドレスを表示します。
ネットワーク状態	現在のネットワーク接続状態を表示します。 接続：ネットワークに接続中です。 切断：ネットワークが切断されています。 無効：ネットワーク設定の「プロファイル」が「無効」になっています。

[参考]

- 工場出荷時は、有線 LAN の設定が無効になっています。ネットワークに接続するには、プロファイルを「無効」から「有効」に変更して、有線 LAN を有効にしてください。

5-6-8. ネットワークサービス

HTTP サーバー

本機の HTTP サーバーに接続するかしないかを設定します。

オフ	HTTP サーバーに接続できません。
オン	HTTP サーバーに接続できます。

AMX ビーコン /PJLink/Crestron/PC CONTROL/SEARCH

各項目の設定状態を表示します。
設定を変更する場合は、HTTP サーバーに接続します（→ 98 ページ）。

5-6-9. コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。
また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID	オフ… コントロール ID 機能が無効になります。 オン… コントロール ID 機能が有効になります。
コントロール ID 番号	本機に割り当てる番号を 1 ～ 254 の中から選択します。 工場出荷時は「1」が設定されています。

［注意］

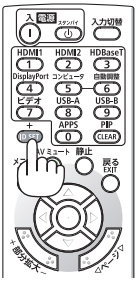
- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは使用できます）。

リモコンへの ID の設定／変更方法

1. プロジェクターの電源を入れる。

2. リモコンの ID SET ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。



コントロール ID が「オフ」のとき



コントロール ID が「オン」でコントロール ID 番号が「1」、そしてリモコン ID が一致しているとき



「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 3 でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

コントロール ID が「オン」でコントロール ID 番号が「1」、そしてリモコン ID が不一致のとき



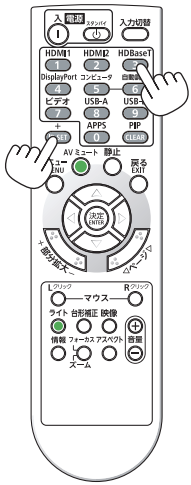
3. リモコンの ID SET ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。

ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、「000」を入力するか、または CLEAR ボタンを押します。

[参考]

- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。



4. ID SET ボタンを離す。

コントロール ID 画面が表示されます。

このとき、変更されたリモコン ID で「動作・非動作」画面が更新されます。

[注意]

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。

5-6-10. 工場初期化

本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

5-7. USB-A

USB メモリー内の画像を投写する（基本操作）（→ 57 ページ）の手順に従ってビューワー画面を表示してください。

セットスライド	「効果」、「ソート順」、「回転」、「ベストフィット」、「リピート」の設定に従って、画像をスライドとして表示します。 設定を変更した場合は、必ず「適用」を実行してください。
効果	スライドを切り替える方向を設定します。 右にスライド … スライドを左から右に切り替えます。 下にスライド … スライドを上から下に切り替えます。
ソート順	スライドを切り替える順番を設定します。 名前順……ファイルまたはフォルダーを名前で並べ替えます。 時間順……ファイルまたはフォルダーを時間で並べ替えます。 サイズ順…ファイルまたはフォルダーをサイズで並べ替えます。 拡張子順…ファイルまたはフォルダーを拡張子名で並べ替えます。
回転	画像の回転方向を設定します。 回転なし …… 回転は無効になります。 90˚ …… 時計回りに 90˚ 回転します。 180˚…… 時計回りに 180˚ 回転します。 270˚…… 時計回りに 270˚ 回転します。
ベストフィット	画像の表示サイズについて設定します。 オフ… 通常の画素で画像を表示します。 オン… スクリーンのアスペクト比に応じて画像を表示します。
リピート	スライドの最後の画像が表示された後の動作を設定します。 オフ… 最後の画像を表示した後、画像一覧画面に戻ります。 オン… 最後の画像を表示した後、最初の画像から再び表示されます。
適用	「効果」、「ソート順」、「回転」、「ベストフィット」、「リピート」の設定を適用します。 設定を変更した場合は、必ず「適用」を実行してください。

5-8. 情報

投写している信号の情報や、本機の情報を表示します。

入力	入力切替で選択している端子名を表示します。また、コンピューター、HDMI1、HDMI2 のときは信号の解像度を表示します。
水平同期周波数	入力信号の水平同期周波数を kHz で表示します。信号がないときは「--- kHz」と表示します。
垂直同期周波数	入力信号の垂直同期周波数を Hz で表示します。信号がないときは「--- Hz」と表示します。
ライト使用時間	光源の使用時間を表示します。
モデル名	モデル名を表示します。
SERIAL NUMBER	本機のシリアル番号を表示します。
バージョン	本機のファームウェアのバージョンを表示します。
SUBCPU	本機の SUBCPU のバージョンを表示します。
IP アドレス	IP アドレスを表示します。

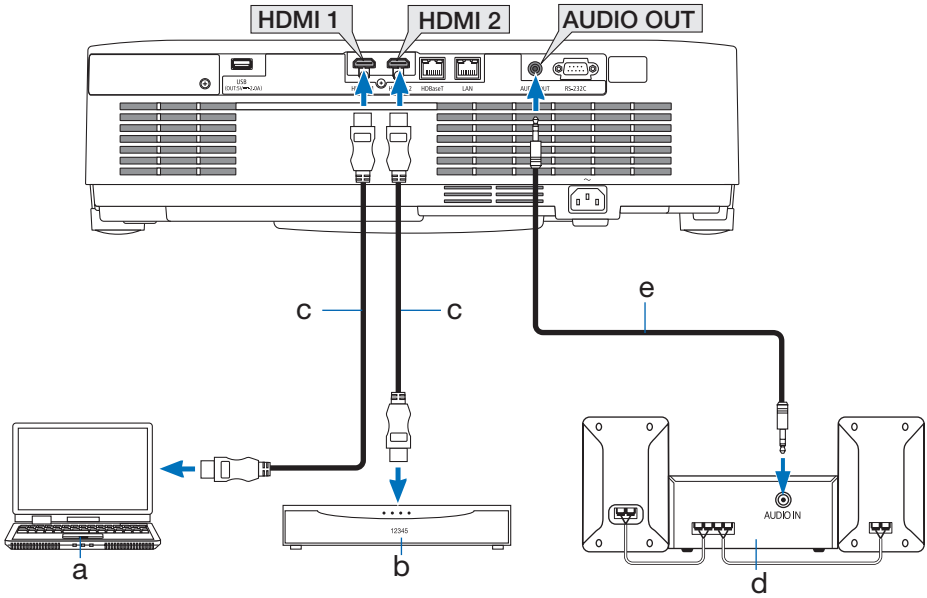
6. 機器と接続する

［注意］

- 本機に接続ケーブルは添付していません。外部機器と接続する際は、接続に合ったケーブルをご用意ください。
  HDMI、LAN、RS-232C、オーディオについてはシールドタイプのケーブルを使用してください。
  これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

6-1. コンピューターや映像機器と接続する

外部機器との接続例です。



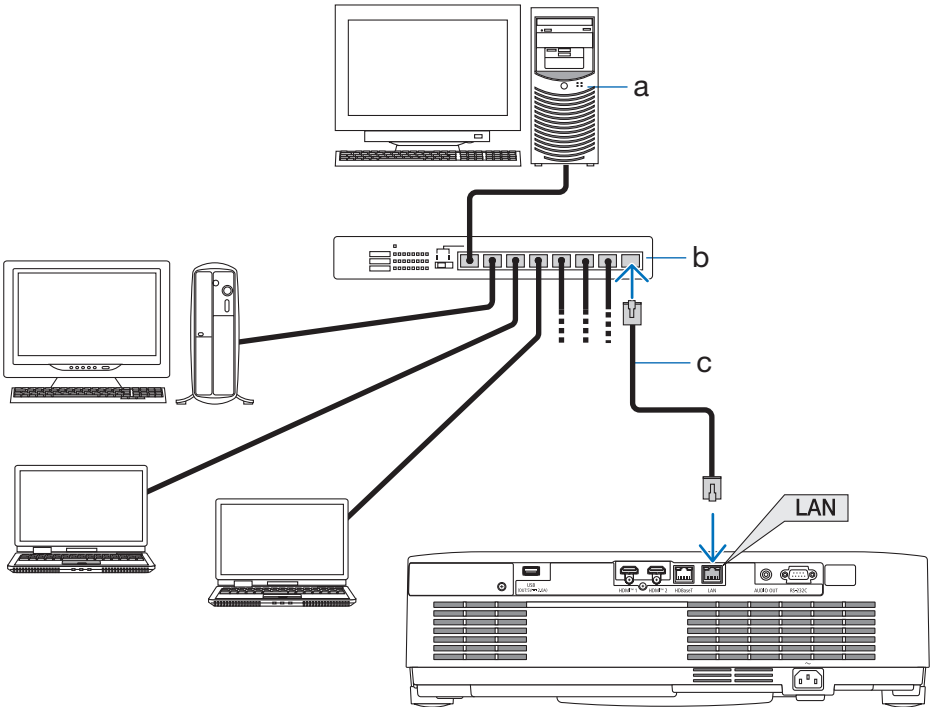
a：コンピューターなど /b：ブルーレイプレーヤーなど /c：HDMI ケーブル（市販）/
d：オーディオ機器など /e：ミニプラグ音声ケーブル（市販）

- プレミアムハイスピード対応の HDMI ケーブルを使用してください。
- 機器によって、端子の名称、位置や向きが異なりますので、機器の取扱説明書でご確認ください。
- 本機は、HDMI 信号レベルのフルレンジとリミテッドレンジを自動的に判別します。
  HDMI 入力信号が正しく投写されない場合は、HDMI 1 または HDMI 2 入力端子に接続している機器の信号レベルを確認して、オンスクリーンメニューの「HDMI 設定」を切り替えてください。（→ 73 ページ）

6-2. 有線 LAN と接続する

本機を有線 LAN に接続すると、HTTP サーバー機能を利用して、コンピューターでウェブブラウザーを使用して本機を制御することができます。
詳しくは「7. ネットワークに接続する」（→ 96 ページ）をご覧ください。

接続例

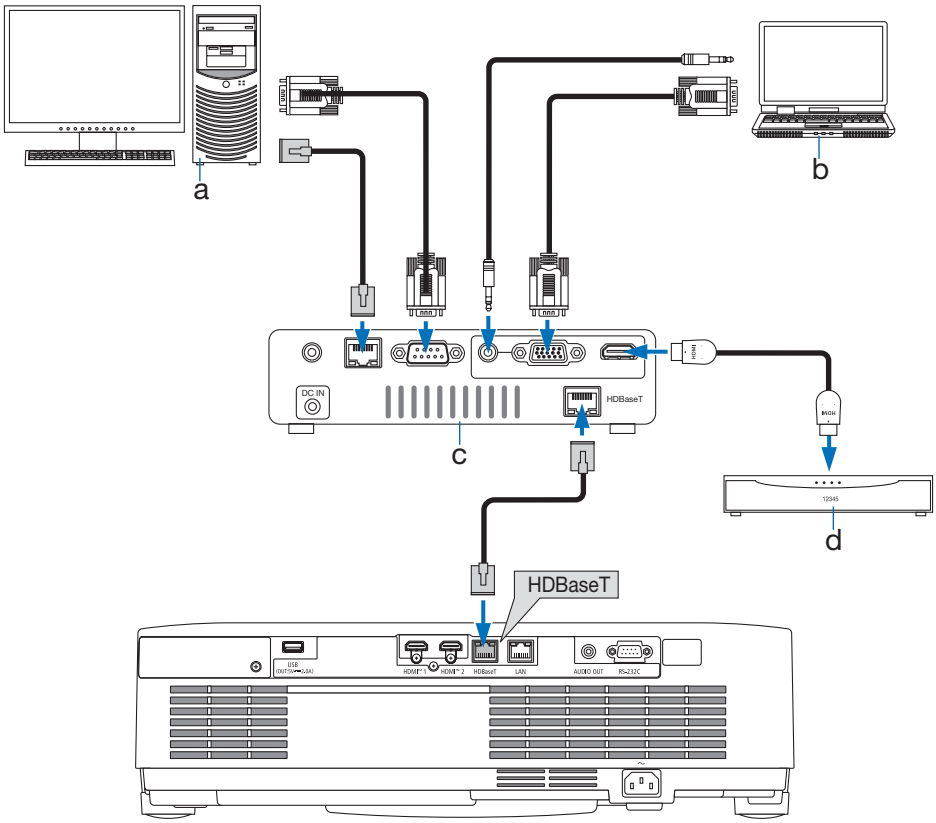


a：サーバー / b：HUB など /
c：LAN ケーブル（市販）（カテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。）

6-3.HDBaseT 対応の伝送機器（市販）と接続する

HDBaseT は、HDBaseT Alliance によって策定された家電製品向けの接続規格です。
市販の LAN ケーブルを使って、本機の HDBaseT ポート（RJ-45）を市販の HDBaseT 対応の伝送機器に接続します。
本機の HDBaseT ポートは、伝送機器からの HDMI 信号（HDCP 対応）、外部機器からのシリアル制御に対応しています。
外部機器との接続については、HDBaseT 対応の伝送機器の取扱説明書をご覧ください。

接続例



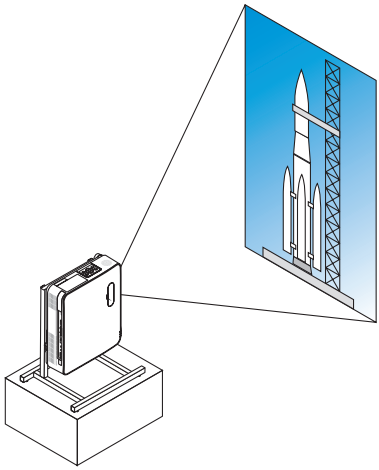
a：コンピューター（制御用）/ b：コンピューター（出力用）/ c：伝送機器の例 /
d：HDMI 出力映像機器

[注意]

- LAN ケーブル（市販）は、カテゴリ 5e 以上のシールド付きツイストペア（STP）ケーブルを使用してください。
- LAN ケーブルで伝送可能な距離は、最長 100m です（4K 信号の場合は最長 70m）。
- HTBaseT の接続では、0.5m などの短い LAN ケーブルは使用できません。
- 本機と伝送装置との間に他の伝送装置を使用しないでください。画質が劣化することがあります。
- 本機は、市販のすべての HDBaseT 対応の伝送機器との接続を保証するものではありません。

6-4. ポートレート（縦向き）投写をする

本機を縦設置することでコンピューターなどのポートレート画面を投写することができます。なお、オンスクリーンメニュー画面など、すべて反時計方向に回転した表示になります。
本体は設置状態を自動で検知するセンサーを搭載しています。



設置上のご注意

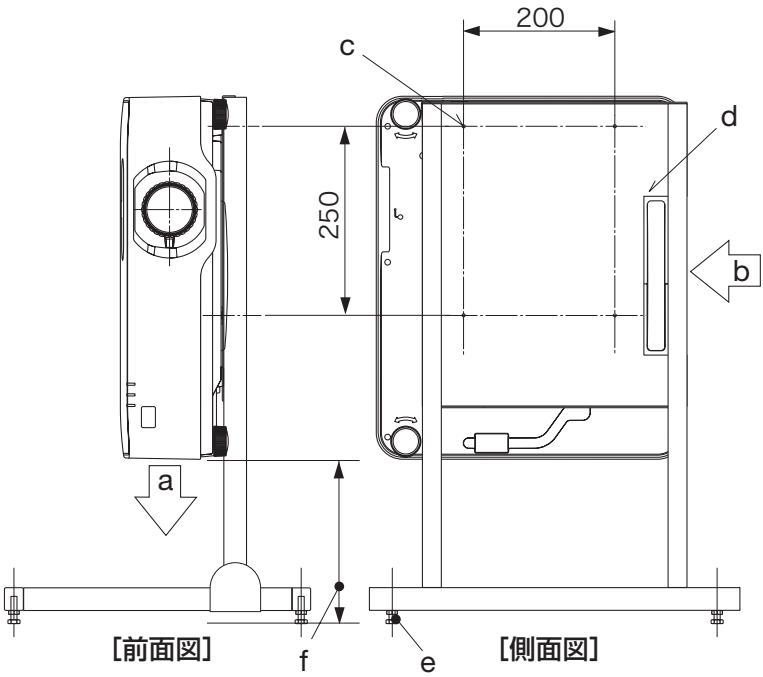
- 床や台の上に本体をそのまま縦向きで設置しないでください。吸気口または排気口がふさがれ、本体が高温になり火災や故障の原因となります。
- 本体を支えるスタンドを必ず製作してください。このとき本体の重心がスタンド脚の内側に十分入る様に設計してください。転倒して故障や破損、けがの原因となります。
- プロジェクター本体やスタンドに不具合が発生した場合を想定して、落下防止の対応が必要です。

スタンド設計製作の条件

ポートレート投写をするには専用のスタンドをプロジェクター設置業者にご依頼ください（有料）。設計に際しては次のことをお守りください。

1. 排気口を下向きにする場合は、床と本体排気口の距離を 200mm 以上確保してください。
   本体後面の吸気口をパネルなどで塞がないでください。
2. 本体底面にある 4 箇所のネジ穴を使ってスタンドと固定してください。
   ネジ穴センター寸法：200 × 250mm
   本体のネジ穴寸法：M4 ネジ最大深さ 8mm
   ※ 本体底面後部のリアフットがスタンドにぶつからないように設計してください。
   チルトフットは回して外すことができます。
3. 水平調整機構（たとえばボルトとナット：４箇所）
4. スタンドは容易に転倒しないよう設計してください。

参考図 ※寸法条件を表す図で、実際のスタンド設計図ではありません。
（単位：mm）



a：排気口 / b：吸気口 / c：4-M4 用ネジ穴（ネジ深さ 8mm）/
d：リアフット部の切り欠きが必要 / e：水平アジャスター /
f：排気口を下向きにする場合は、床と本体排気口の距離を 200mm 以上確保してください。

7. ネットワークに接続する

7-1. ネットワークに接続してできること

- 同一のネットワーク（無線または有線ルーター経由）に接続されたコンピューターまたはタブレットのウェブブラウザーを使用して、有線 LAN 接続を介したプロジェクターの HTTP サーバーにアクセスできます。HTTP サーバーにアクセスすることにより、ウェブブラウザーを使用してプロジェクターを制御したり、ネットワーク設定をすることができます。
- 本機の HTTP サーバーでは、HTTP サーバーのログインパスワード変更、画像調整、画面調整、ネットワーク設定、Crestron control 設定、AMX Beacon 設定 、PJLink 設定などができます。

7-2. 本機の有線 LAN を有効にする

準備

· LAN ケーブルを本機に接続してください。（→ 91 ページ）

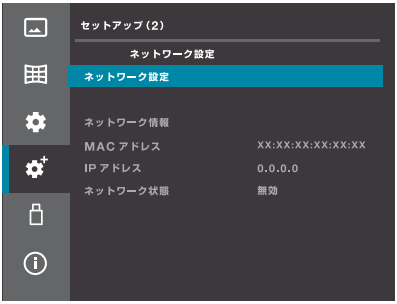
1. **MENU（メニュー）ボタンを押してオンスクリーンメニューを表示する。**



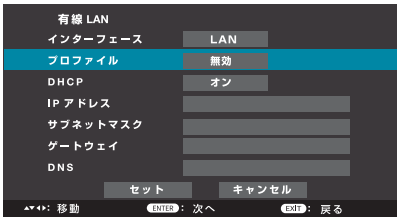
2. **▼ / ▲ボタンで「セットアップ（2)」アイコンにカーソルを合わせ、▶または ENTER（決定）ボタンを押す。**
   サブメニューにカーソルが移動します。

3. **▼ / ▲ボタンを押して「ネットワーク設定」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。**
   ネットワーク設定メニューが表示されます。

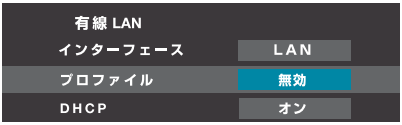
4. **「ネットワーク設定」にカーソルが合っていることを確認し、ENTER（決定）ボタンを押す。**
   有線 LAN 設定画面が表示されます。



5. **「プロファイル」にカーソルが合っていることを確認し、ENTER（決定）ボタンを押す。**



プロファイルの「無効」の背景が青色に変わります。



6. **▼/▲ボタンを押して「有効」を表示して、ENTER（決定）ボタンを押す。**
プロファイルを「有効」にすると、有線 LAN が有効になります。



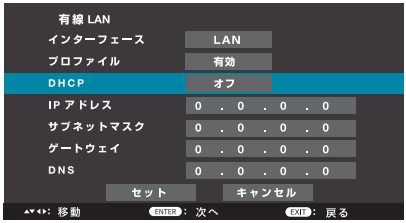
- DHCP が「オン」のままネットワークの設定をプロジェクター本体に保存する場合は、手順 13 に進みます。
- 任意の IP アドレスに変更する場合は、手順 7 に進みます。

IP アドレスを変更する

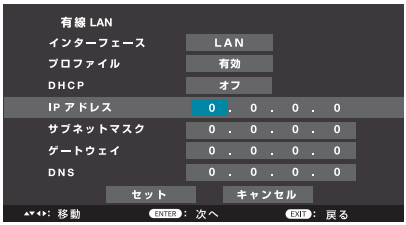
（例：プロジェクターの IP アドレスを「192.168.1.100」にする場合）

7. **▼/▲ボタンを押して「DHCP」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。**

8. **▼/▲ボタンを押して「オフ」を表示して、ENTER（決定）ボタンを押す。**
DHCP をオフにすると、IP アドレスを変更できます。



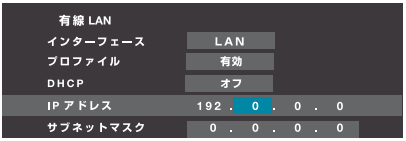
9. **▼/▲ボタンを押して「IP アドレス」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。**
IP アドレスの一番左の入力欄が青色に変わります。



10. ▼ / ▲ボタンを押して数値を変更し、ENTER（決定）ボタンを押す。

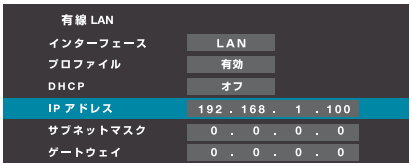
・▼ / ▲ボタンの代わりに、リモコンの数字（0 ～ 9）入力ボタンで数値を入力することもできます。

IP アドレスの右隣りの入力欄が青色に変わります。



11. 手順 10 を繰り返し、IP アドレスを設定する。

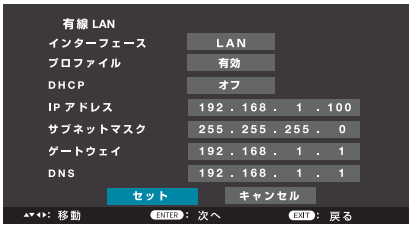
一番右の入力欄で ENTER（決定）ボタンを押すと、IP アドレスの行が青色に変わります。



12. 同様に操作して「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「DNS」などを設定する。

13. ▼ / ▲ボタンを押して「セット」にカーソルを合わせ、ENTER（決定）ボタンを押す。

ネットワークの設定内容がプロジェクター本体に保存されます。



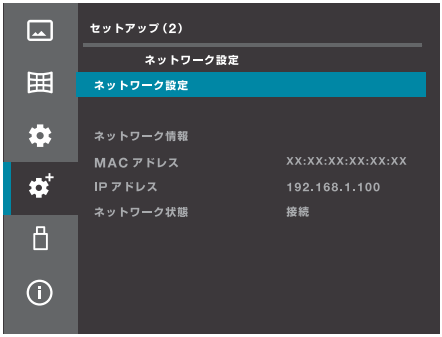
7-3. 本機の HTTP サーバーに接続する

● 本機のネットワーク設定をしてください。（→ 84 ページ）

1. 本機の IP アドレスを表示して確認する。

・本機のオンスクリーンメニューの「セットアップ（2）」→「ネットワーク設定」を選択してください。

画面例



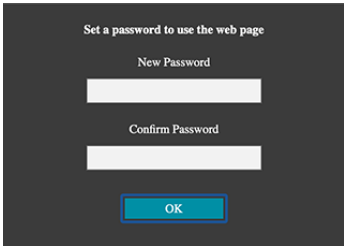
2. **コンピューターやタブレット端末のネットワーク設定をする。**
3. **コンピューターやタブレット端末のウェブブラウザーを起動する。**
4. **ネットワーク設定画面に表示されている本機の IP アドレスを次のようにウェブブラウザーの URL 欄に入力する。**

   画面に表示されている IP アドレスが「**192.168.1.100**」の場合
   URL 入力欄へ「**http://192.168.1.100/index.html**」と指定します。

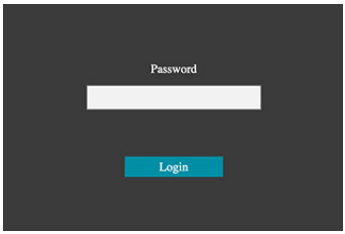
   しばらくすると、ウェブブラウザーに HTTP サーバー画面が表示されます。



5. **画面左上の「Login」ボタンをクリックする。**
   はじめて「Login」ボタンをクリックしたときや、オンスクリーンメニューで「工場初期化」を実行したときは、ログインパスワードを設定する画面が表示されます。
   ・パスワードを設定した後、次に「Login」ボタンをクリックしたときは、ログインパスワード入力画面が表示されます。

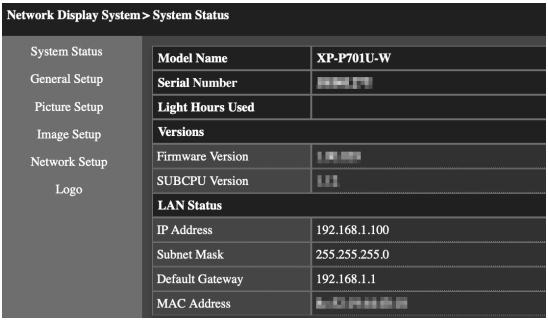


6. **任意のログインパスワードともう一度同じパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックする。**
   ログインパスワード入力画面が表示されます。
   ・パスワードは、HTTP サーバー画面の「General Setup」で変更することができます。



7. 手順 6 で設定したパスワードを入力し、「login」ボタンをクリックする。

HTTP サーバー画面が表示されます。



HTTP サーバー画面の設定項目は次のとおりです。設定項目は英語でのみ表示されます。

System Status	Model Name	本機の形名を表示します。	
	Serial Number	本機のシリアル番号を表示します。	
	Light Hours Used	光源の使用時間を表示します。	
	Versions	プロジェクターのファームウェアと SUBCPU のバージョンを表示します。	
	LAN Status	LAN の接続ステータスを表示します。	
General Setup	Change Password for Webpage	ログインパスワードを変更できます。	
	Projector Name	本機をアプリケーションソフトから識別するための名称を入力します。 この名称はネットワーク上のホスト名（Host Name）とは異なります。	
	Power & Input	電源のオン／オフ、および信号を切り替えます。	
Picture Setup	Brightness	投写している画像の明るさを調整します。	
	Contrast	投写している画像のコントラストを調整します。	
	Sharpness	投写している画像の画質を調整します。	
	Color Temperature (Red/Green/Blue)	投写している画像の色温度を調整します。	
Image Setup	Aspect	投写している画像のアスペクト比を切り替えます。	
	Freeze	画面の静止のオン／オフを切り替えます。	
	V Keystone	垂直方向の台形歪みを補正します。	
	H Keystone	水平方向の台形歪みを補正します。	
	Corner correction	TopLeft_x	左上の角の歪みを補正します。
		TopLeft_y	
		TopRight_x	右上の角の歪みを補正します。
		TopRight_y	

次ページへ続く

Image Setup	Corner correction	BottomLeft_x	左下の角の歪みを補正します。
		BottomLeft_y	
		BottomRight_x	右下の角の歪みを補正します。
		BottomRight_y	
Network Setup	LAN Setup	Obtain an IP address automatically Use the following IP address	DHCPの有効／無効を選択します。 DHCP が無効のときは、以下に IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を設定します。
		IP Address	DHCP が無効のときに IP アドレスを設定します。
		Subnet	DHCP が無効のときにサブネットマスクを設定します。
		Gateway	DHCP が無効のときにゲートウェイを設定します。
		DNS	DHCP が無効のときに DNS を設定します。
	Crestron control	IP Address	Crestron control のオプションを設定します。
		IP ID	
		PORT	
	PJLink Setup	PJLink Class	Class1 と Class2 を切り替えます。 ・初期値：Class2
		Notification	通知機能を有効にするか無効にするかを選択します。 ・初期値：オフ（無効）
		Notified Address	Notification が有効のときに、通知先となる IP アドレスを入力します。
		Hash Algorithm	PJLink の認証時に暗号化のために使用するハッシュアルゴリズムを選択します。 「Auto」（初期値）に設定すると、適切なハッシュアルゴリズムを自動で選択します。 制御アプリケーションのバージョンに合わせて「High Secure (Version 2.10 or later)」または「Legacy」を設定することもできます。
		Password Enable Password Disable	パスワード設定のオン／オフを選択します。

次ページへ続く

Network Setup	PJLink Setup	Input Password	PJLink のパスワードを入力します。
		Confirm Password	PJLink のパスワードを再入力して確認します。
	Network Service	AMX Beacon	AMX のビーコンを送信するかしないかを選択します。 • 初期値：オフ（送信しない）
		PJLink	PJLink を有効にするか無効にするかを選択します。 • 初期値：オン（有効）
		Crestron	Crestron を有効にするか無効にするかを選択します。 • 初期値：オン（有効）
		PC Control	本機の RS-232C 端子を有効にするか無効にするかを選択します。 • 初期値：オン（有効）
		Search	オンにすると本機の対応アプリケーションで使用される検索通知に対して反応します。オフにすると検索通知に反応しません。 • 初期値：オン（反応する）
Logo	Choose File	ロゴにする画像を選択します。	
	Update	選択したロゴ画像をプロジェクターへ送信します。	

[注意（1）]

- General Setup と Network Setup で設定を変更したら、必ず各設定の「Apply」ボタンをクリックしてください。
- Network Service の設定を変更した場合、次回プロジェクターの電源をオンにしたときに反映されます。
- パスワードを入力するときに、周囲の人にパスワードを盗み見られて悪用されないように、パスワードの入力に細心の注意を払ってください。
  もし盗み見られたと思った場合は、速やかにパスワードを変更してください。

[注意 (2)]

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定をしてください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
  また続けてボタン操作をするとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作してください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザーでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl + F5 キーを押してウェブブラウザーの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザーに対してしてください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。
- プロキシサーバーについて
  プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したウェブブラウザー操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザーから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

[参考]

- 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、本機のオンスクリーンメニューの「セットアップ（2）」→「工場初期化」を実行して、パスワードを再設定してください。
  なお、**「工場初期化」を実行すると、すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。**
- PJLink（ピージェイリンク）とは一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（略称 JBMIA）が制定したネットワーク（通信）インターフェース規格です。
  https://pjlink.jbmia.or.jp/index.html
- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。
  CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。
  （英語のみ）https://www.crestron.com

7-4. バックグラウンドロゴの登録

画像をコンピューターからプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。
本機の HTTP サーバー画面左側の「Logo」タブをクリックします。次に「ファイルを選択」をクリックしロゴ画面で表示したい画像ファイルを選択して、「Update」を実行します。



● ロゴ画像の条件

＊ ファイルサイズ：約 500 キロバイト以内
＊ 画像サイズ：　本機の解像度（1920x1200 ドット）以内
＊ ファイル形式：　JPEG（フルカラー）

登録後、オンスクリーンメニューの「画像設定」→「バックグラウンド」を「ロゴ」に設定すると、無信号時の背景にロゴ画像を表示します。
ロゴ画像が本機の解像度よりも小さいとき、ロゴ画像は中央に表示され、周囲は黒色になります。

[注意]

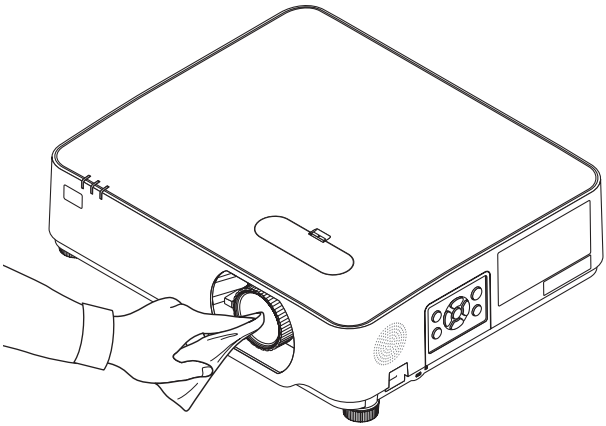
- 「Update」ボタンをクリックする前に、プロジェクターの電源がオン状態になっていることを確認してください。プロジェクターが「待機」状態やスタンバイ状態になっていると、ロゴ画像を送信できません。

8. 本体のお手入れ

8-1. レンズの清掃

⚠ 警告	● レンズを清掃する際は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜いてください。レンズの清掃中に電源が入ると、レンズからの強い光が目に入り、視力障害の原因となります。 また強い光によって指をやけどするおそれがあります。 ● レンズなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

本機のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、市販のプラスチック用レンズクリーナーを使用して汚れをふき取ってください。
市販のプラスチック用レンズクリーナー は、カメラ販売店等でお買い求めください。



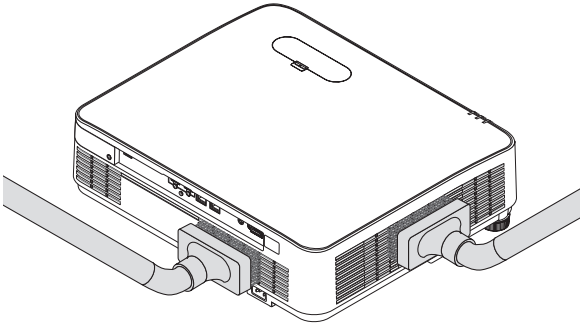
[注意]

- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

8-2. キャビネットの清掃

⚠ 警告	● お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● キャビネットなどに付着したほこりの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。火災の原因となります。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
  汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風口やスピーカー部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプターを使用して吸い取ってください。なお、アダプターを付けずに直接当てたり、ノズルアダプターを使用することは避けてください。



通風口やスピーカー部のほこりを吸い取ります。

- 通風口にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口お問い合わせください。

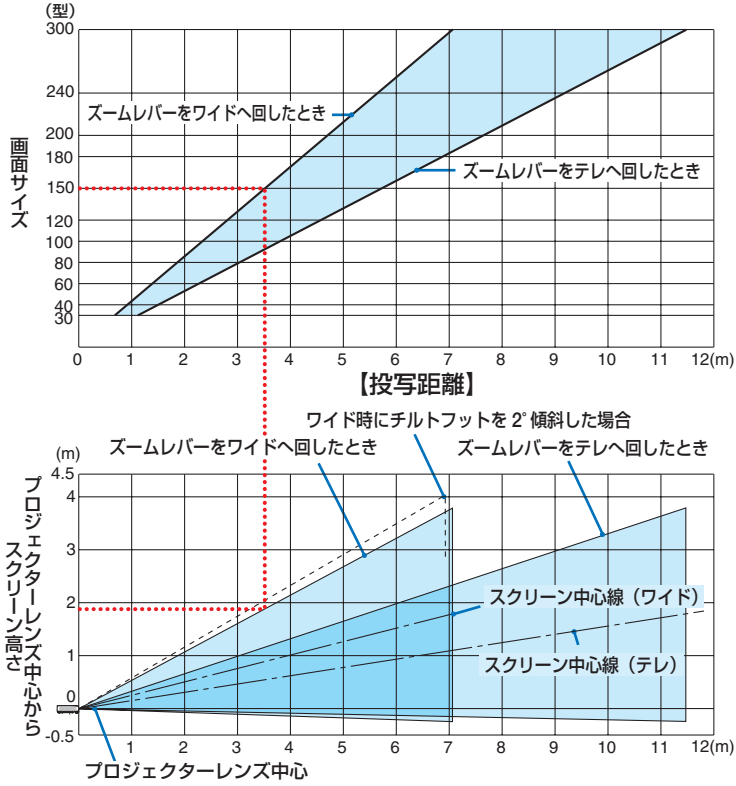
[注意]

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

9. 付　録

9-1. 投写距離とスクリーンサイズ

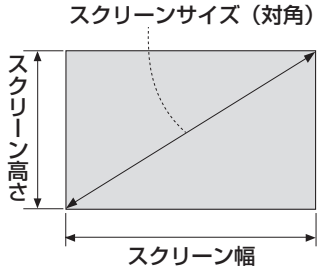
この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、どのくらいのスクリーンを用意すればいいのか、また、目的の大きさで投写するにはどのくらいの距離が必要かを知りたいときの目安にしてください。
アスペクト比が 16:10 の場合、フォーカス（焦点）の合う投写距離は、レンズ前面から 0.68m（30 型の場合）～ 11.47m（300 型の場合）です。この範囲で設置してください。



※投写距離表の「プロジェクターレンズ中心からスクリーンの高さ」はレンズシフトを上方向へ最大（44%V）に移動したときを表しています。

【表のみかた】
表より 150 型スクリーンにワイドで投写するには表より、約 3.5m 付近に設置することになります。
また、下の表はプロジェクターのレンズ中心からスクリーンの上端までが約 1.9m 必要となりますので、プロジェクターから天井までの高さやスクリーンを設置する高さが確保できるかの目安にお使いください。図はプロジェクターを水平に設置したときの投写範囲を表しています。投写画面はレンズシフトにより上下左右に移動できます。（→ 42 ページ）

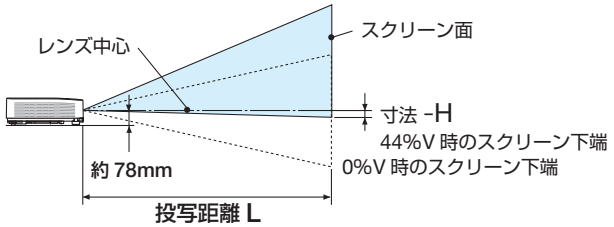
スクリーンサイズと寸法表



サイズ（型）	対角（m）	アスペクト比 16:10		アスペクト比 16:9	
		スクリーン幅（m）	スクリーンの高さ（m）	スクリーン幅（m）	スクリーンの高さ（m）
30	0.76	0.65	0.40	0.66	0.37
40	1.02	0.86	0.54	0.89	0.50
60	1.52	1.29	0.81	1.33	0.75
70	1.78	1.51	0.94	1.55	0.87
80	2.03	1.72	1.08	1.77	1.00
90	2.29	1.94	1.21	1.99	1.12
100	2.54	2.15	1.35	2.21	1.25
120	3.05	2.58	1.62	2.66	1.49
150	3.81	3.23	2.02	3.32	1.87
200	5.08	4.31	2.69	4.43	2.49
250	6.35	5.38	3.37	5.53	3.11
290	7.37	6.25	3.90	6.42	3.61
300	7.62	6.46	4.04	6.64	3.74

デスクトップの例

下の図はレンズシフト 44%V で投写するときの例です。
水平投写位置……レンズを中心に左右均等
垂直投写位置……（下表参照）



寸法 H：レンズ中心からスクリーン下端までの高さ（チルトフットを縮めた状態）

（アスペクト比 16:10）

スクリーンサイズ	投写距離 L（m）		寸法 H（mm）
（型）	ワイド時	テレ時	0%V ～ 44%V
30	0.68	1.12	-202 ～ -24
40	0.92	1.50	-269 ～ -32
60	1.39	2.27	-404 ～ -48
70	1.63	2.65	-471 ～ -57
80	1.86	3.04	-538 ～ -65
90	2.10	3.42	-606 ～ -73
100	2.33	3.80	-673 ～ -81
120	2.81	4.57	-808 ～ -97
150	3.52	5.72	-1010 ～ -121
200	4.70	7.64	-1346 ～ -162
250	5.88	9.56	-1683 ～ -202
300	7.06	11.47	-2019 ～ -242

（アスペクト比 16:9）

スクリーンサイズ	投写距離 L（m）		寸法 H（mm）
（型）	ワイド時	テレ時	0%V ～ 44%V
30	0.70	1.15	-187 ～ -4
40	0.94	1.55	-249 ～ -6
60	1.43	2.33	-374 ～ -8
70	1.67	2.73	-436 ～ -10
80	1.91	3.12	-498 ～ -11
90	2.16	3.52	-560 ～ -12
100	2.40	3.91	-623 ～ -14
120	2.88	4.70	-747 ～ -17
150	3.61	5.88	-934 ～ -21
200	4.83	7.85	-1245 ～ -28
250	6.04	9.82	-1557 ～ -35
290	7.01	11.40	-1806 ～ -40

レンズシフト範囲

本機にはダイヤル操作で画面位置を調整するレンズシフト機能（→ 42 ページ）があります。
次の範囲内のレンズシフトができます。

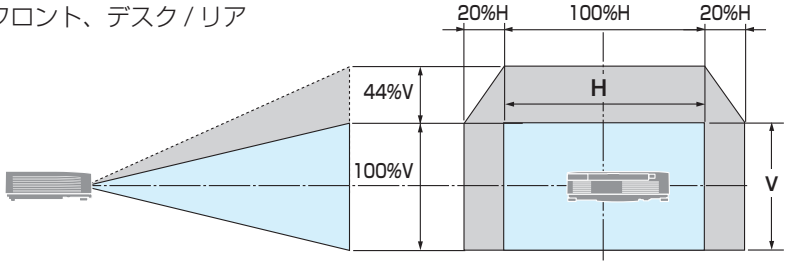
レンズシフト範囲　　垂直方向：＋ 44%、－ 0%
　　水平方向：± 20%

［注意］

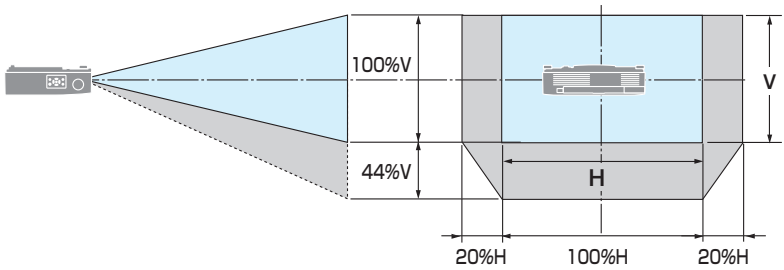
- レンズシフトの移動量が下図の範囲を超えている場合、画面の端がぼやけたり、影が出たりすることがあります。

記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表し、レンズシフト範囲を高さおよび幅の比率で表しています。

デスク / フロント、デスク / リア



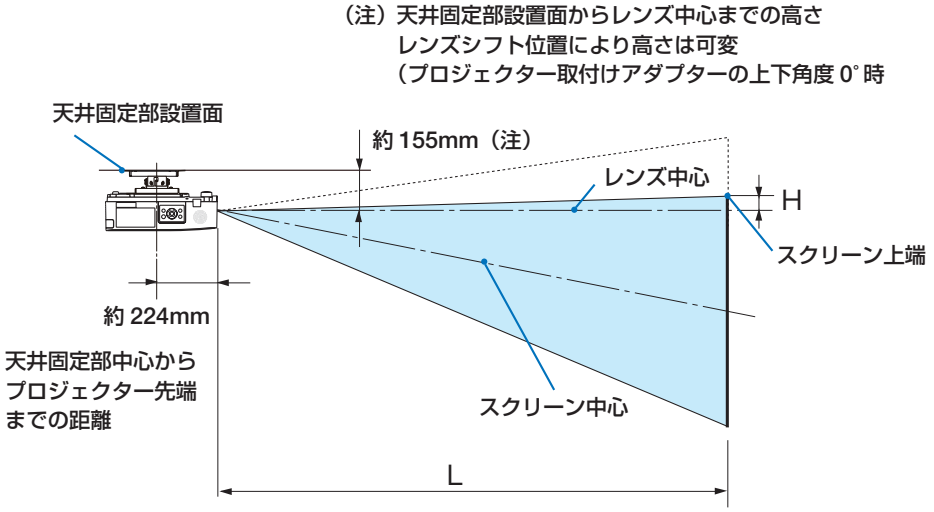
天吊り / フロント、天吊り / リア



（計算例）16:10 の 150 型で投写している場合
「スクリーンサイズと寸法表」（→ 108 ページ）のスクリーン表により H=3.23m、V=2.02m になります。
垂直方向の調整範囲：上方向 0.44 × 2.02m ≒ 0.89m、投写画面を移動することができます（レンズが中心位置の場合）。
水平方向の調整範囲：左方向 0.20 × 3.23m ≒ 0.65m、右方向も同様に約 0.65m 投写画面を移動することができます。
※簡易計算式のため数%の誤差があります。

[参考]

● 天吊り金具（別売）設置時の投写距離について
　投写距離（L）、寸法（H）はデスクトップの例と同じです。
　レンズシフトについては 110 ページをご覧ください。
　天井固定部の寸法およびプロジェクター取り付け時の寸法は 116 ページをご覧ください。



● 記載の数値は設計値のため誤差が生じることがあります。

9-2. 対応解像度一覧

信号名	解像度（ドット）	アスペクト比	垂直走査周波数（Hz）
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768	4 : 3	60
HD	1280 × 720	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768	15 : 9	60
	1280 × 800	16 : 10	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
FWXGA	1366 × 768	16 : 9	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
Full HD	1920 × 1080	16 : 9	60*1
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10	60*1
UWFHD	2560 × 1080	21 : 9	60
4K UHD	3840 × 2160	16 : 9	30
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	24/50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV (480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

*1: リアル表示
リアル表示以外の信号が入力されたときは、文字や罫線の太さなどが不均一になったり、色がにじんだりする場合があります。

9-3. 仕　様

形名			XP-P701U-W	XP-P621U-W
方式			三原色液晶シャッター投映方式	
主要部品仕様	液晶パネル	サイズ	0.64 型（16.3mm）× 3 枚、アスペクト比 16:10	
		画素数 (*1)	2,304,000 画素（1920 ドット× 1200 ライン）	
	投写レンズ		F=1.58 ～ 2.02、f=15.3 ～ 24.6mm、ズーム比 1.6 倍	
		ズーム	マニュアル	
		フォーカス	マニュアル	
		レンズシフト	マニュアル（水平：± 20%、垂直：＋ 44% , － 0%）	
	光源		レーザーダイオード＋蛍光体	
	光学装置		ダイクロイックミラーによる光分離 クロスプリズムによる合成方式	
明るさ (*2)			7000lm (*3) 7400lm（センター）	6200lm (*3) 6500lm（センター）
画面サイズ（投写距離）			30 ～ 300 型 (0.7 ～ 11.5m)	
色再現性			10 ビット カラープロセッシング（約 10 億 7000 万色）	
走査周波数		水平	15 ～ 100kHz	
		垂直	50 ～ 120Hz	
入出力端子	HDMI	映像入力	タイプ A × 2 Deep Color、LipSync、HDCP (*4)	
		音声入力	サンプリング周波数　32/44.1/48kHz サンプリングビット　16/20/24bit	
	HDBaseT	映像入力	RJ-45 × 1、100BASE-TX、Deep Color、LipSync 、HDCP (*4)	
		音声入力	サンプリング周波数　32/44.1/48kHz サンプリングビット　16/20/24bit	
	音声出力		ステレオミニジャック× 1 （全信号共通）	
	USB		USB タイプ A × 1、電源供給 5.0V/2.0A	
	LAN		RJ-45 × 1、10BASE-T/100BASE-TX	
制御入出力端子				
	RS-232C		D-Sub 9 ピン× 1	
スピーカー			16W モノラルスピーカー内蔵	
使用環境 (*5)			動作温度 :0 ～ 45℃ 動作湿度 :20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）	
			保存温度 : － 10 ～ 50℃ 保存湿度 :20 ～ 80%（ただし、結露しないこと）	
			動作高度 : 0 ～ 2600m （1600 ～ 2600m はファンモード「高地」）	

形名			XP-P701U-W	XP-P621U-W
電源			AC100V 50/60Hz	
消費電力			375W	315W
消費電力（スタンバイ時）				
	スタンバイモード	ノーマル時	0.31W	
		ネットワークスタンバイ時	0.8W	
定格入力電流			5.0A	3.8A
外形寸法			480（幅）× 122（高）× 407（奥行）mm（突起部含まず） 480（幅）× 142.5（高）× 407（奥行）mm（突起部含む）	
質量			9.6kg	9.4kg

（＊ 1）：有効画素数は 99.99%です。

（＊ 2）：ピクチャーマネージメントが「高輝度モード」、ライトモードが「ノーマル：100%」のときの明るさです。他のモードを選択すると明るさが多少低下します。

（＊ 3）：JIS X6911:2021 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 B に基づいています。

（＊ 4）：HDCP/HDCP 技術とは？

HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。

本機の HDMI 1 および HDMI 2 入力端子、HDBaseT ポートは、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。

ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、HDMI 1 および HDMI 2 入力端子、HDBaseT ポートの映像が表示されないことがあります。

映像：DeepColor (ディープカラー：色深度): 8/10/12 ビット、LipSync

音声：LPCM; チャンネル数 ; 2ch、サンプリング周波数：32/44.1/48kHz、
サンプリングビット：16/20/24 ビット

HDMI：HDCP 1.4 に対応

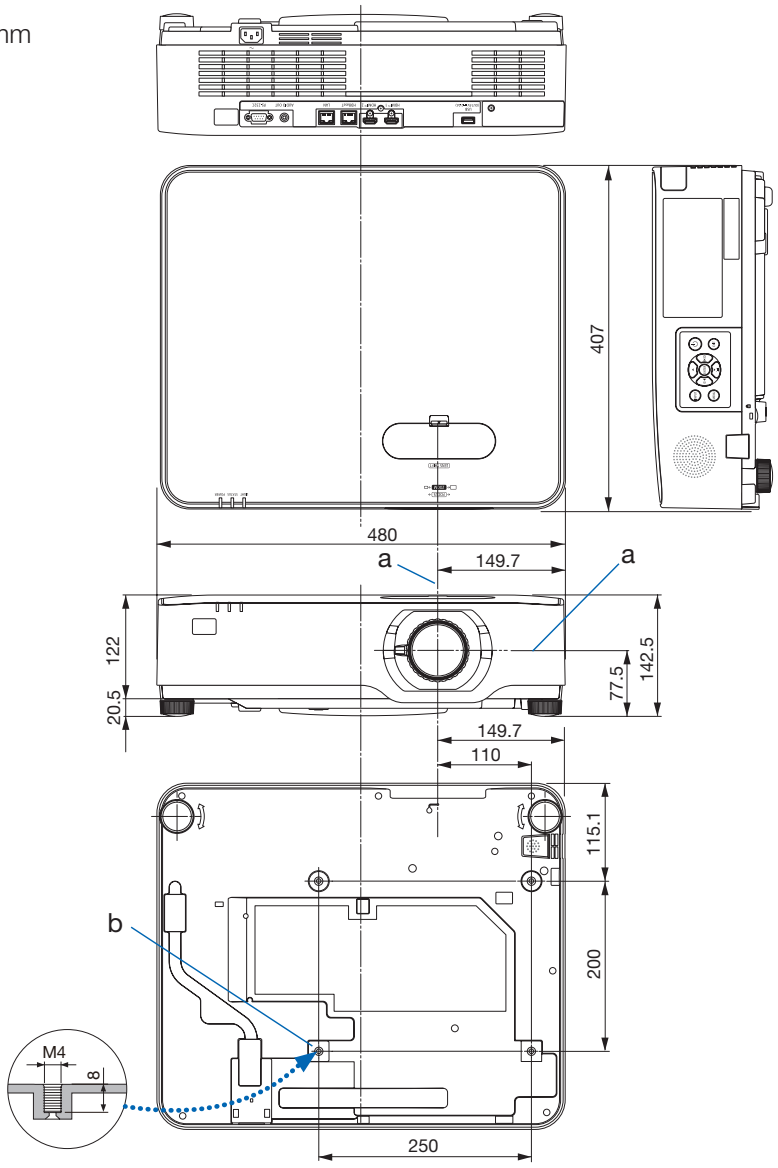
HDBaseT：HDCP 1.4 に対応

（＊ 5）：使用環境の温度が高いと、本機の保護機能により、自動的に光源の輝度（明るさ）が低下することがあります。（約 33℃を目安としていますが、使用環境によって異なります。）

・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

9-4. 外観図

単位：mm

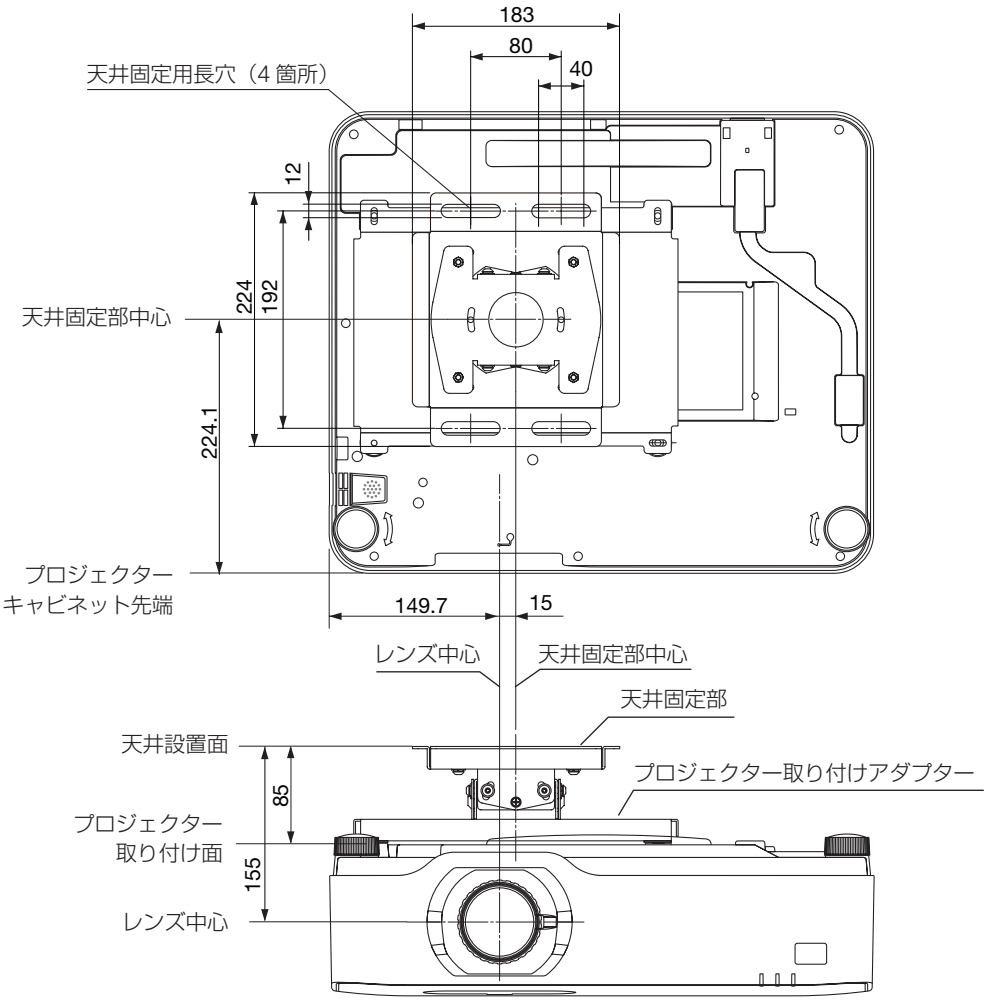


a：レンズ中心 / b：天吊り金具取り付け用ネジ穴 ※（4 箇所）M4mm 深さ 8mm

※ 天吊り金具の取り付けは、販売店に依頼してください。
設置業者様は、天吊り金具の取扱説明書に従って、金具と 4 箇所すべての固定用ネジを確実に取り付けてください。

天吊り金具（別売）取り付け図

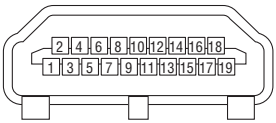
天井設置面寸法図（単位：mm）



注）左右 0˚、上下 0˚、傾き 0˚、上下位置中心時の寸法です。

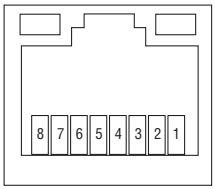
9-5. 主な端子のピン配列と信号名

● HDMI 1/2 端子（タイプ A）



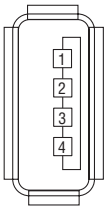
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	TMDS データ 2 ＋	11	TMDS クロック シールド
2	TMDS データ 2 シールド	12	TMDS クロック－
3	TMDS データ 2 －	13	CEC
4	TMDS データ 1 ＋	14	非接続
5	TMDS データ 1 シールド	15	SCL
6	TMDS データ 1 －	16	SDA
7	TMDS データ 0 ＋	17	DDC/CEC 接地
8	TMDS データ 0 シールド	18	＋ 5V 電源
9	TMDS データ 0 －	19	ホットプラグ検出
10	TMDS クロック＋		

● HDBaseT ポート／ LAN ポート（RJ-45）



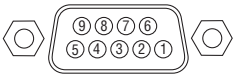
ピン番号	信号
1	TxD ＋ / HDBT0 ＋
2	TxD － / HDBT0 －
3	RxD ＋ / HDBT1 ＋
4	非接続 / HDBT2 ＋
5	非接続 / HDBT2 －
6	RxD － / HDBT1 －
7	非接続 / HDBT3 ＋
8	非接続 / HDBT3 －

● USB ポート（USB タイプ A）



ピン番号	信号
1	VBUS
2	D －
3	D ＋
4	接地

● RS-232C 端子（D-Sub 9 ピン）



ピン番号	信号
1	未使用
2	RxD　受信データ
3	TxD　送信データ
4	未使用
5	接地
6	未使用
7	RTS　送信要求
8	CTS　送信可
9	未使用

9-6. 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときはお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

現象と確認事項

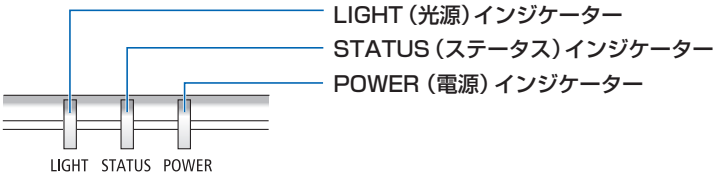
このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	36
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	123
	標高約 1600m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクターが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、光源が消灯後光源の温度が上昇するため、温度プロテクターが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	71
	上記の電源コードの接続、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	51
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューの「パワーマネージメント」で時間を設定していませんか。	83
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の INPUT（入力切替）ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	40
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	90 〜 93
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	65
	AV ミュートボタンが押されていませんか。	52
	コンピューター信号（HDMI）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。コンピューターの解像度を確認してください。	112

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が出ない	HDMI 1/2 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピューターに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピューター、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバーや最新 OS は、お客様の責任においてインストールしていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	−
	HDBaseT 対応伝送機器によっては信号が対応していない場合があります。また RS-232C が対応できない場合があります。	−
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	62
	それでも解決しない場合は、「工場初期化」を実行してみてください。	87
	スタートアップブロックが「オン」になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいた暗証番号を入力しないと映像は投写されません。	81 82
	標高約 1600m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクターが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	71
映像が歪む	正しく設置されていますか。	41
	台形状に歪む場合は台形補正で調整してください。	47
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	44
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	45
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	107
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか	110
	レンズなどが結露していませんか 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れると投写窓や内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—

このようなとき	確認してください	参照ページ
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	使用環境の温度が高いと、本機の保護機能により、自動的に光源の輝度（明るさ）が低下することがあります。	—
	ダイナミックコントラスト機能が有効な場合、表示している映像によっては明るさが暗くなります。	65
HDMI 入力信号が正常に投写されない	HDMI 信号レベルを正常に判別できていない可能性があります。HDMI1 または HDMI2 入力端子に接続している機器の信号レベルを確認して、オンスクリーンメニューの「セットアップ（1）」→「HDMI 設定」の設定を切り替えてみてください。	73
音声が出ない	音量が最小になっていませんか。 またはオンスクリーンメニューで「消音」を「オン」にしていませんか。	49 73
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	34
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	33
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。	34
	リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。	34
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	86
インジケーターが点滅する	インジケーター表示一覧をご覧ください。	122 123
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約５分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	51

9-7. インジケーター表示一覧

本体操作部の 3 つのインジケーターが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



通常のインジケーター表示

POWER	STATUS	LIGHT	本機の状態
（消灯）	（消灯）	（消灯）	電源がオフ状態
オレンジ色（長い点滅）	（消灯）	（消灯）	スタンバイ状態（スタンバイモードが「ノーマル」）
オレンジ色（点灯）	（消灯）	（消灯）	スタンバイ状態（スタンバイモードが「ネットワークスタンバイ」）
緑色（点灯）	（消灯）	（消灯）	スタンバイ状態（スタンバイモードが「スリープ」）
青色（点灯）	（消灯）	緑色（点灯）	電源オン状態（ライトモードが「ノーマル」）
青色（点灯）	（消灯）	緑色（点滅）	電源オン状態（ライトモードが「静音」または「長寿命」）
緑色（短い点滅）	（消灯）	（消灯）	本体の冷却中
緑色（長い点滅）	（消灯）	（消灯）	待機モード（→ 83 ページ）

異常時のインジケーター表示

POWER	STATUS	LIGHT	本機の状態
 （消灯）	 オレンジ色（点灯）	（各状態）	本体キーロック中に本体のボタンを押したとき
			プロジェクターとリモコンの ID 番号が一致しないとき
 赤色（短い点滅）	 （消灯）	 （消灯）	温度エラーを検出しました。吸気口および排気口がふさがれていないか確認してください。
 赤色（点灯）	（その他の状態）	（その他の状態）	ハードウェアの異常です。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。
 赤色（点滅）	（その他の状態）	（その他の状態）	

●温度プロテクターが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、光源が消灯し、電源インジケーターが赤色で短く点滅します。
その後、本機の温度プロテクター機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。
そのようなときは、以下の処置をしてください。

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- 通風口にほこりがたまっていたら、清掃してください。（→ 106 ページ）
- 本機内部の温度が下がるまで、約 1 時間そのままにしてください。

9-8. ASCII コントロールコマンドについて

本機は、当社のプロジェクターまたはディスプレイを制御するための共通 ASCII コントロールコマンドに対応しています。
コマンドの詳細は、ホームページに掲載しているリファレンスマニュアルをご覧ください。
https://smj.jp.sharp/r/38/

外部機器との接続方法

プロジェクターとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

① **シリアルポートを使用した接続**
シリアルケーブル（クロスケーブル）を使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。

② **ネットワーク (LAN) 経由での接続**
LAN ケーブルを使用して、コンピューターとプロジェクターを接続します。
使用する LAN ケーブルの種類（ストレート / クロス）については、ネットワーク管理者にご確認ください。

接続インターフェース

① **シリアルポートを使用した接続**
通信条件

項目	詳細
ボーレート	38400/19200/9600/4800bps
データ長	8 ビット
パリティビット	なし
ストップビット	1 ビット
フロー制御	なし
通信手順	全二重

② **ネットワーク（LAN）経由での接続**
通信条件（LAN による接続）

項目	詳細
伝送速度	自動設定 (10/100Mbps)
対応規格	IEEE802.3 (10BASE-T) IEEE802.3u (100BASE-TX, Auto-Negotiation)

コマンドの送受信には、TCP のポート番号「7142」を使用します。

本機で使用するパラメーター

● input コマンド

入力端子	レスポンス	パラメーター
HDMI1	hdmi1	hdmi1 または hdmi
HDMI2	hdmi2	hdmi2
HDBaseT	hdbaset	hdbaset
USB-A	usb-a	usb-a

● status コマンド

レスポンス	本機の状態
error:temp	温度エラー
error:fan	ファン異常
error:light	光源異常

9-9. トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな？と思ったら」をご覧いただき、それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状をお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口の受付担当者へお伝えください。
※このページと次のページを印刷してお使いください。

発生頻度　□常時　□時々（　　回中　　回）　□その他(　　)

電源関係

□ 電源が入らない（電源インジケーターが青色に点灯しない）。
- □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ ⏻ボタンを押しても電源が入らない。

□ 使用中、電源が切れる。
- □ 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。
- □ パワーマネージメントは「オフ」に設定されている。

映像・音声関係

□ コンピューターの画面が投写されない。
- □ コンピューターと本機を接続したあとにコンピューターを起動してもなおらない。
- □ ノートブックコンピューターにおいて外部出力信号が出力されている。
  Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]~[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます（コンピューターによって異なります）。

□ 映像が出ない（ブルーバック ・ ロゴ ・ 表示なし）。
- □ 工場初期化を実行してもなおらない。
- □ 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。
- □ 画面に何かメッセージが出ている。
  （　　）
- □ 接続している入力を選択している。
- □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。
- □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。

□ 映像が暗い。
- □ 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。

□ 映像が歪む。
- □ 台形に歪む（台形補正を実行してもなおらない）。

□ 映像が切れる。
- □ 工場初期化を実行してもなおらない。
- □ 水平または垂直方向に映像がずれる。
- □ 入力は対応している解像度・周波数の信号である。
- □ 数ドット欠けている。

□ 映像がちらつく。
- □ 工場初期化を実行してもなおらない。
- □ ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。

□ 映像がぼやける・フォーカスが合わない。

□ 音声が出ない。
- □ 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。
- □ 音量を調整してもなおらない。

その他

□ リモコンが利かない。
- □ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。
- □ 蛍光灯の近くに本体が設置されている。
- □ プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。

□ 本体操作パネルのボタンが利かない。
本体キーロック設定のある機種において
- □ 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

形名 : ☐ **XP-P701U-W**　☐ **XP-P621U-W**

製造番号 :

購入時期 :

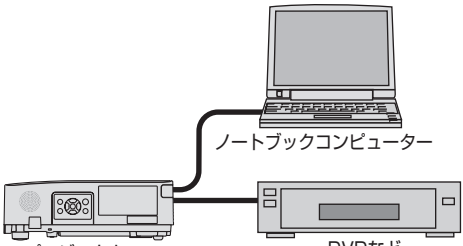
ライト使用時間 :

ライトモード : ☐ ノーマル　☐ 静音
☐ 長寿命

入力信号情報 :

水平同期周波数 [kHz]
垂直同期周波数 [Hz]
同期極性　H ☐(+)　☐(−)
V ☐(+)　☐(−)

インジケーターの状態
点灯 (　　)
点滅 (　回周期)



設置環境

スクリーンサイズ :　型
タイプ : ☐ホワイトマット　☐ビーズ　☐偏光
☐広視野角　☐ハイコントラスト

投写距離 :　m

投写方法 : ☐天吊り　☐床置き

電源コンセントは？
☐ 壁からのコンセントを直接利用している。
☐ 電源用テーブルタップを利用している。
（他、接続機器の数 :　台）
☐ 電源ドラム（ロール式）を利用している。
（他、接続機器の数 :　台）

コンピューター

メーカー :

形名 :

ノートブックコンピューター・デスクトップ一体型

解像度 :

リフレッシュレート :

ビデオボード :

その他 :

信号ケーブル

純正・その他
（形名 :　長さ :　m）

分配器
形名 :

スイッチャー
形名 :

アダプター
形名 :

接続機器

ビデオ ・ DVD ・ カメラ ・ ゲーム ・ その他

メーカー :

形名 :

9-10. 別売品

商　品　名		形　名
天吊り金具	プロジェクター 天井取付けユニット	XP-14CM

アフターサービスについて

■ 製品の保証について

- この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- 保証期間はお買いあげの日から 3 年間です。
  本製品には有寿命部品（光学エンジン、光源ユニットなど）が含まれます。
  有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境（温度、湿度など）の条件により異なります。
  長時間連続使用など、ご使用状況によっては製品の保証期間内であっても有料での部品交換が必要になりますので、シャープサポートページ（裏表紙）をご確認ください。

■ 補修用性能部品について

当社は、本製品の補修用性能部品を製造打切後、5 年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■ 修理を依頼されるときは

先に「故障かな？と思ったら」（→ 119 ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

ご連絡していただきたい内容

品名	プロジェクター
形名	XP-P701U-W XP-P621U-W （取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
お買いあげ日	（年月日）
故障の状況	（できるだけ具体的に）
ご住所	
お名前	
電話番号	

次ページへ続く

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

使いかたのご相談など

弊社製品が接続されているシステムの使いかたなどは、ご購入の販売店・営業担当にお問い合わせください。

シャープサポートページ：

https://jp.sharp/business/lcd-display/support/

- 問い合わせフォームよりお問い合わせください。
- 「よくあるご質問」もご活用ください。

修理のご相談など

【修理ご相談窓口】

シャープマーケティングジャパン株式会社

0570-00-5008（・全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。・携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月曜～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■ IP 電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は … **06-6794-9676**

■ 沖縄地区の方は … 沖縄シャープ電機株式会社　**098-861-0866**

受付時間 月曜～金曜：9:00～17:00（土曜・日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

● 電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2026.6)

シャープ株式会社

本 社 〒541-8522 大阪府大阪市中央区久太郎町 2 丁目 1 番 25 号